

発行 No. TMM0023

平成 17 年 12 月 1 日

東芝メーターテクノ株式会社

製品部 技術 Gr.

自動検針システム

TOSCAM-SK1

取扱説明書

安全上のご注意

製品および取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容(表示・図記号)を良く理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

また、重要な事項を記載している個所に図記号を表示していますので、必ずお守りください。

表示の説明

	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合。

(注) 1. 重傷とは、失明、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するもの。

2. 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電など。

3. 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害。

図記号の説明

	禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、 の中や近くに文章で示します。
	強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、 の中や近くに文章で示します。
	注意を示します。 具体的な注意内容は、 の中や近くに文章で示します。

(注) 本体表示に合わせて、禁止、強制の説明内容が変わります。

必ず守ってください

警告

動作中に停電したり、電源系(電源スイッチ、リセットを含む)が切れると、システムが誤動作したりデータやプログラムを喪失することがあります。

これらに伴う、損害に関する保障はしかねます。

事前にこれらの事故を防止するために、無停電電源装置の設置、またはシャットダウン機能の活用などによって、システム保護を行ってください。

また、データやプログラムの喪失に備え、定期的にバックアップをお取りください。

個々の機器に関する安全上の注意

個々の機器に付属されている取扱説明書を、必ず参照してください。

1. 設置時における安全上の注意



強 制

D種専用接地を行ってください。

また、本システムの電源は、他の電気機器の負荷変動、および電氣的ノイズなどの影響のあるものは避けてください。

- ・ 電動機、エレベータ、電気溶接、静電気複写機、電気炉など感電や火災の原因となります。



強 制

次の環境での設置および保管はさけてください。

- ・ じんあいの多い場所
- ・ 腐食性ガス(SO₂、H₂S)、可燃性ガスの発生する場所
- ・ 許容値を超える振動、衝撃のある場所
- ・ 急激な温度変化により結露するような場所
- ・ 設置条件から外れる低温または高温
- ・ 設置条件から外れる高湿度
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 強い電波や磁界を発生する機器の近く

2. 保守点検時における安全上の注意



強 制

機器の接続の際は、必ず電源を切ってください。
感電による事故や装置の故障の原因となります。



強 制

本装置を落としたり、ぶついたり、また、これらに強いショックを与えないでください。
故障の原因となります。



禁 止

本装置の汚れを落とす場合、ベンジンやシンナーなどは使用しないでください。
装置のパネルやモジュールの変形や変色の原因となります。

3. 寿命部品交換時における安全上の注意



強 制

電源ヒューズや警報ヒューズを交換するときには、必ず事前にその装置のスイッチを OFF にしてください。
感電や火災の原因となります。

4. 日常使用時における安全上の注意

危険



強制

装置の周囲温度や内部温度が異常に上昇したり、装置に故障が生じた場合には、使用をやめて装置の電源を切り、弊社迄連絡してください。

そのままの状態で使用すると、過熱により火災などの原因となります。



強制

電源の容量、周波数、電圧および変動率が、装置の仕様に適合するか確認してから使用してください。

適合しない場合は、装置本来の性能が得られないだけでなく、装置を破損したり、過熱により、火災などの原因となります。



禁止

装置の分解や改造をしないでください。

装置の安全性が失われるだけでなく、装置の誤動作や故障・感電・火災・けがの原因となります。



禁止

装置本体などのすきまから金属類を差し込んだり、クリップなどを落としたりしないでください。

火災などの原因となります。



禁止

電源コードやケーブルは無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。断線や発熱により火災の原因となります。

5. 廃棄時における安全上の注意



禁 止

UPS 用のバッテリーは、次のことをしないでください。

- ・火の中に入れてたり、100 以上の加熱をしない
- ・電池を水にぬらさない
- ・普通のごみと一緒に捨てない

漏れた液によるただれ、発熱・発火・破裂によるやけど・けがの原因となります。

使用上のご注意

- お客様の不注意による事故(誤操作によるデータ消去、ファイルの移動、落下による故障)、天災によって発生した故障などは、免責とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。
- 本ソフトウェアの操作は、画面を見ながら十分確認して行ってください。
- 印字用紙は、実行処理の印字サイズに合わせて実行前に交換してください。
- プリンタの印字色が薄くなったときにオペレータの判断で交換してください。

お願い：この説明書はいつでもご覧になれる場所に保管してください。

用途制限

この製品は、人の生命に直接関わる装置など(注1)を含むシステムに使用できるよう開発・製作されたものではないので、それらの用途に使用しないでください。

この製品を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置などを含むシステム(注2)に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に関して、特別な配慮(注3)が必要となるので、当社営業窓口にご相談してください。

(注1) 人の生命に直接関わる装置などとは、以下のものをいいます。

- ・ 生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器

(注2) 人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置などを含むシステムとは、以下ののようなものをいいます。

- ・ 原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統およびシステム
- ・ 集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム

(注3) 特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム(フルブーフ設計、フェールセーフ設計、冗長設計するなど)を構築することをいいます。

免責事項

- ・ 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・ この製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・ 取扱説明書に記載された内容を守らずに生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・ 接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

はじめに

このたびは、「TOSCAM-SK1 (小規模自動検針システム)」をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。

お求めのソフトウェアを正しくお使い頂くために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

この取扱説明書の構成

この取扱説明書は、次の 9 章で構成されています。

第 1 章 まえがき

TOSCAM-SK1 の簡単な機能と目的について説明します。

第 2 章 システム構成

システムを構成している機器とその使用について説明します。

第 3 章 基本事項

検針に関する基本事項を説明します。

第 4 章 初期画面と各モード画面

各画面遷移について説明します。

第 5 章 基本操作方法

ボタン操作、数値入力等の基本操作について説明します。

第 6 章 検針業務

検針業務について説明します。

第 7 章 通信メーターエラーチェック

通信メーターエラーチェックについて説明します。

第 8 章 実績表示

実績表示について説明します。

第 9 章 設定メニュー

メータ、種別、入居者、システム等に関する設定について説明します。

目次

第 1 章	まえがき	1 - 1
	まえがき	1 - 1
第 2 章	システム構成	2 - 1
	システム構成	2 - 1
	システム系統図	2 - 2
	一般ハード仕様	2 - 3
	一般機能仕様	2 - 6
第 3 章	基本事項	3 - 1
	検針について	3 - 1
	検針方法	3 - 1
	検針の種類	3 - 1
	検針メータ数について	3 - 2
	検針値と指針値について	3 - 2
	料金計算について	3 - 2
	実績について	3 - 3
	印字について	3 - 3
第 4 章	初期画面と各モード画面	4 - 1
	初期画面	4 - 1
	各モード画面	4 - 2
	画面一覧	4 - 3
第 5 章	基本操作	5 - 1
	基本操作	5 - 1
	ボタン	5 - 2
	スイッチ	5 - 2
	電卓	5 - 2
	カレンダー設定	5 - 3
	漢字入力	5 - 4
	英数入力	5 - 5
	カタカナ入力	5 - 6

戻るボタン	5 - 7
第 6 章 検針方法	6 - 1
検針方法	6 - 1
検針選択	6 - 1
全メータ検針	6 - 2
全メータ検針データ編集	6 - 3
全メータ検針印字	6 - 4
更新	6 - 4
手動検針	6 - 5
入居者別検針	6 - 6
入居者別検針データ編集	6 - 7
入居者別検針印字	6 - 8
更新	6 - 8
手動検針	6 - 9
メータ種別検針	6 - 10
メータ種別検針データ編集	6 - 11
メータ種別検針印字	6 - 12
更新	6 - 12
手動検針	6 - 13
個別メータ検針	6 - 14
個別メータ検針データ編集	6 - 15
個別メータ検針印字	6 - 16
更新	6 - 16
手動検針	6 - 17
メータ交換検針	6 - 18
メータ交換検針データ編集	6 - 19
メータ交換検針印字	6 - 20
更新	6 - 20
メータ交換手順	6 - 21
検針の注意事項	6 - 22

第 7 章	通信エラーメーターチェック	7 - 1
	通信エラーメーターチェック	7 - 1
第 8 章	実績表示	8 - 1
	実績表示	8 - 1
	実績表示選択	8 - 1
	全メータ実績表示	8 - 2
	全メータ実績印字	8 - 3
	入居者別実績表示	8 - 4
	入居者別実績印字	8 - 5
	メータ種別実績表示	8 - 6
	メータ種別実績印字	8 - 7
第 9 章	設定メニュー	9 - 1
	設定メニュー	9 - 1
	システム登録	9 - 2
	種別登録	9 - 5
	メータ登録	9 - 9
	入居者登録	9 - 14
	端末機器設定	9 - 17
	指針値設定	9 - 19
	時刻設定	9 - 20
	表示器設定	9 - 21
添付資料		添付
	通信エラーリスト	添付-2
	印字リスト	添付-3
	トラブルシューティング	添付-18

第 1 章

まえがき

自動検針システム TOSCAM-S K 1 は、ビル、マンション及び寮等に設置された発信器付きの各種端末メータ（電力量計、ガスメータ、水道メータ、カロリーメータおよび温水メータ等）の計量値を毎月の検針日に集中検針してその検針結果をもとに料金計算を行い料金表の作成をします。

この一連の機械処理により検針業務の効率化を図ることを目的としています。

第 2 章

システム構成

この章では、システム構成について記述しています。

2.1 システム構成

このシステムは、次の機器より構成されています。詳細については、各々の取扱説明書を参照して下さい。

	機 器 名	概 要
1	自動検針装置本体 (本書)	・タッチパネル、プリンタ、電源ユニット、無停電電源ユニット、TTE 及び端子台、遮断機で構成されています。
2	端末伝送器(注) (TTE)	・計量器からの発信されたパルスを積算計量する電子カウンタと電子カウンタの値を自動検針装置本体に送出する伝送機能があります。
3	計量器(メータ)	・電力量メータ、ガスメータ、水道メータ、カロリーメータおよび温水メータ等があります。

注)本書の中では以降、端末伝送器については「TTE」と称します。

2.2 システム系統図

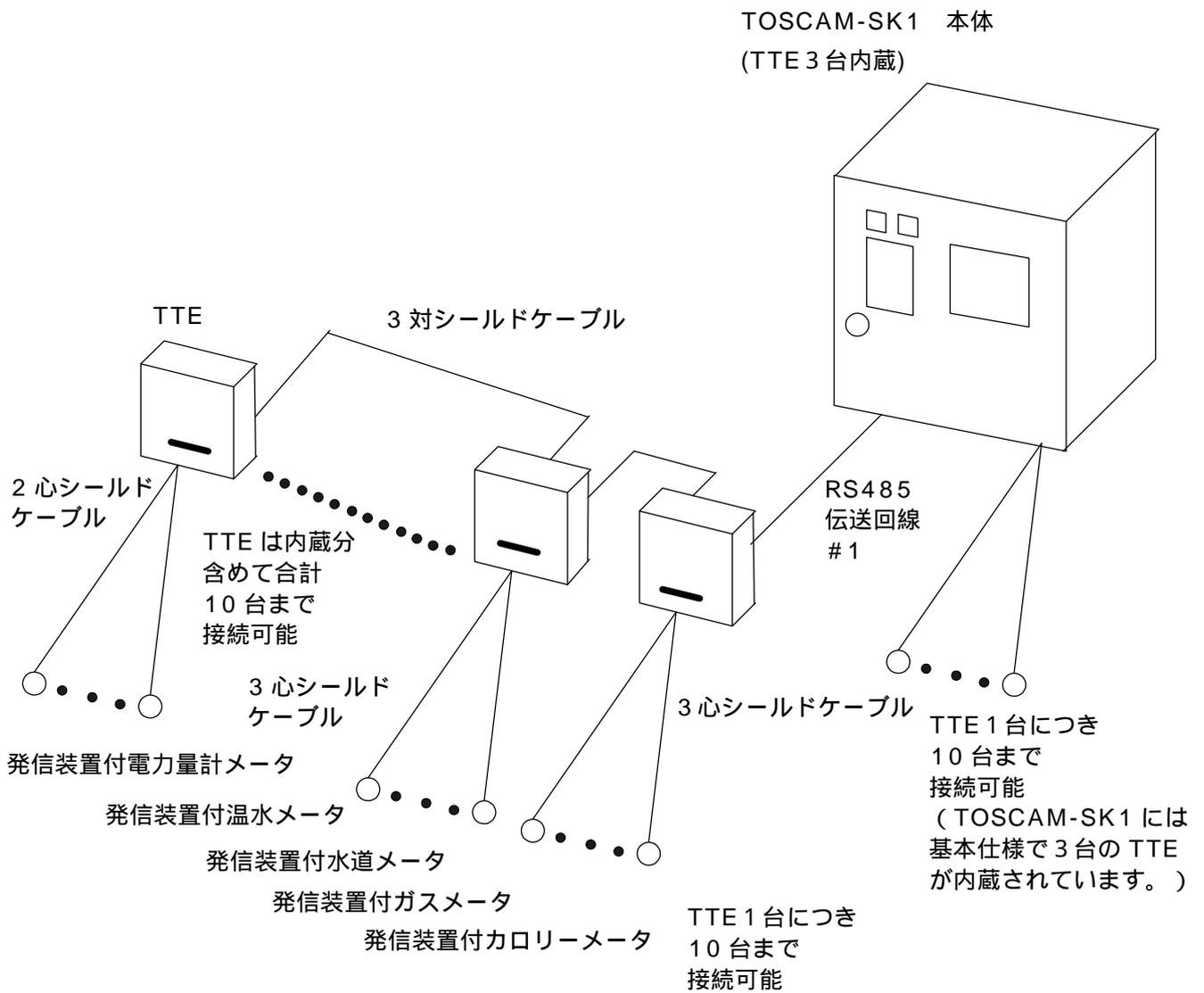


図 2.1 システム系統図

2.3 一般ハード仕様

電 源	AC100V \pm 10% 50 / 60Hz
消費電力	130W (プリンタ稼動時)
端末電源補償	TTE10 台で 16 時間(25 完全充電状態での公称値)
周囲温度	0 ~ 40
周囲湿度	20%RH ~ 80%RH
塗装色	5Y7/1(マンセル記号)
取付方法	壁面(パネル取付はオプション)
外形寸法	449(W) × 429(H) × 250(D)
概略重量	約 2.2 kg
冷 却	自然空冷(両サイドに空気穴有り)
接 地	第 D 種接地(専用)
雰囲気	腐食性ガスのなきこと
塵埃濃度	0.2mg / m ³ 以下

2.4 一般機能仕様

このシステムは、大別して検針、実績表示、登録および設定モードから構成されています。

モード	機能	内容
検針	<ul style="list-style-type: none"> ・全メータ検針 ・入居者別検針 ・メータ種別検針 ・個別メータ検針 ・メータ交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・全メータ、入居者別、メータ種別、個別メータの表示または検針を行うことができます。また使用量と料金の印字を行うことができます。 ・メータ交換を行う際の指針値、使用量の設定を行うことができます。
実績表示	<ul style="list-style-type: none"> ・全メータ実績 ・入居者別実績 ・メータ種別実績 	<ul style="list-style-type: none"> ・全メータ、入居者別、メータ種別ごとに実績表示を行うことができます。また使用量の印字を行うことができます。
登録	<ul style="list-style-type: none"> ・システム登録 ・種別登録 ・メータ登録 ・入居者登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・システム、メータ種別、入居者情報等の登録をします。
設定	<ul style="list-style-type: none"> ・端末機器設定 ・指針値設定 ・時刻設定 ・表示器設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・端末機器、指針値、時刻、表示器等を設定します。

第 3 章

基本事項

この章は、基本事項について記述しています。

3.1 検針について

検針とは、端末伝送器で計数しているメータ値(計数値)をセンタ装置で読み取することをいいます。読み取った値を指針値と呼びます。

3.1.1 検針方法

オペレータの操作による検針と毎月設定された日時になると自動的に検針を行う定時検針の2種類の検針方法があります。

3.1.2 検針の種類

検針には、次の5種類があります。

	種 類	内 容
1	全メータ検針	<ul style="list-style-type: none"> ・オペレータの操作により、検針可能な全メータについて検針します。 ・使用量および料金の印字ができます。
2	入居者別検針	<ul style="list-style-type: none"> ・オペレータの操作により、特定入居者のメータについて検針します。 ・入居者毎に使用量および料金の印字ができます。
3	メータ種別検針	<ul style="list-style-type: none"> ・オペレータの操作により、特定種別のメータを検針します。 ・メータ種別毎に使用量および料金の印字ができます。
4	個別メータ検針	<ul style="list-style-type: none"> ・オペレータの操作により、特定のメータを検針します。 ・使用量および料金の印字ができます。
5	メータ交換	<ul style="list-style-type: none"> ・オペレータの操作により、メータ交換値を検針します。 ・使用量および料金の印字ができます。

注：検針値は全て共通の値を使用します。2つ以上の種類の検針を行う場合は注意する必要があります。

3.2 検針メータ数について

検針メータ数は最大100台です。また、電気、ガス、水道等のメータを10種類まで登録できます。

なお、1入居者には、最大15台までメータが登録できます。

3.3 検針値と指針値について

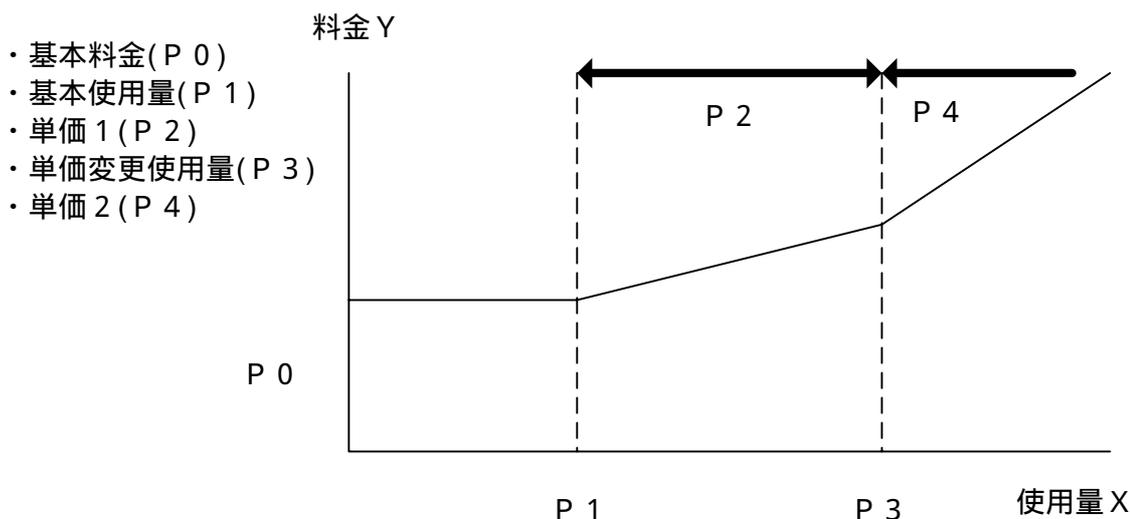
TTE から送られてくる各メータのパルス積算値(計数値)を指針値とよんでいます。この指針値をメータごとに換算したものを検針値と呼び、換算するための係数のことをメータの乗率と呼びます。

- (1) 検針値は10進6桁です。
- (2) 乗率の範囲は、0.01～100です。(べき乗)
- (3) 使用量は10進9桁です。

注： 検針値が7桁以上の数値にならないようご注意ください。

3.4 料金計算について

センタ装置には、5つの料金計算用係数をもとに次のような計算処理を行っています。



$$\begin{aligned}
 X < P 1 & \quad Y = P 0 \\
 P 1 < X < P 3 & \quad Y = P 0 + P 2 (X - P 1) \\
 P 3 < X & \quad Y = P 0 + P 2 (P 3 - P 1) + P 4 (X - P 3)
 \end{aligned}$$

・料金は10進9桁です。9桁を超えた場合は正確に値が表示されない場合があります。

注： 検針値が7桁以上の数値にならないようご注意ください。

3.5 実績について

検針値とは別に実績データを保持しています。実績データは最大 62 日分、1 日ごとの実績を保持します。

実績の値は各日 0 時の指針値を用いて計算を行い、計算で出た値を実績として保持します。

3.6 印字について

お客様の任意の印字操作により印字されます。

紙切れにご注意ください。故障の原因になる場合があります。

印字時には極力タッチパネルの操作は控えてください。

使用用紙

三栄電機社製 P-58-30

第 4 章

初期画面と各モード画面

この章では、初期画面と各モード画面について記述しています。

4 . 1 初期画面

電源を投入した時点の初期画面は、図 4 . 1 のようになります。
ここから各種検針・設定画面へと移ります。



図 4 . 1 初期画面

4.2 各モード画面

図4.1で示した図より「検針メニュー」を押すと下図のような画面が表示され、メニューの中より、各項目が選択可能となります。

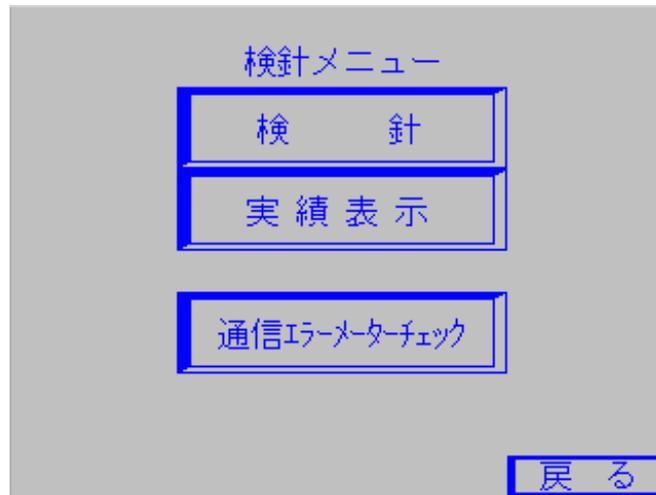


図4.2 検針メニュー 1

図4.2で示した図より「検針」を押すと下図のような画面が表示され、メニューの中より、各項目が選択可能となります。

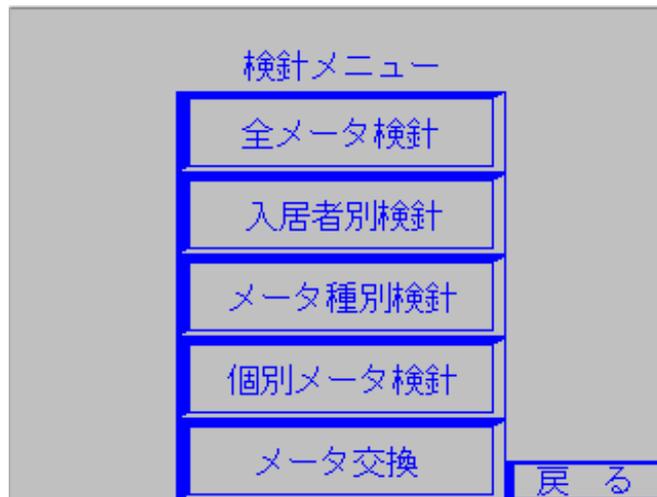


図4.3 検針メニュー 2

図4.1で示した図より「設定メニュー」を押すと下図のような画面が表示されメニューの中より、各項目が選択可能となります。

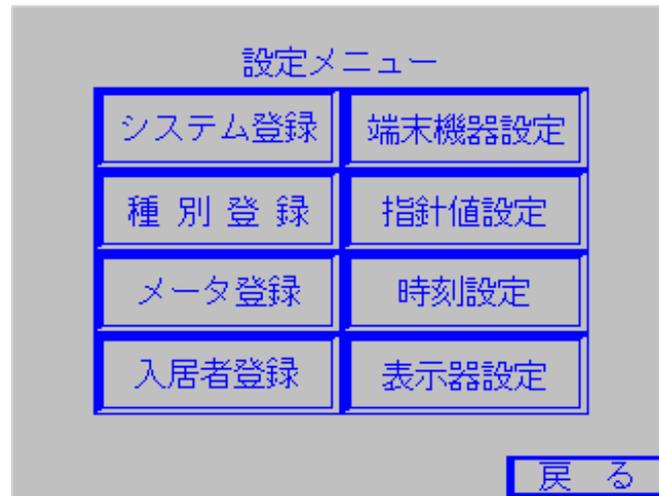


図4.4 設定メニュー画面

4.3 画面一覧

下図に画面の一覧を示します。

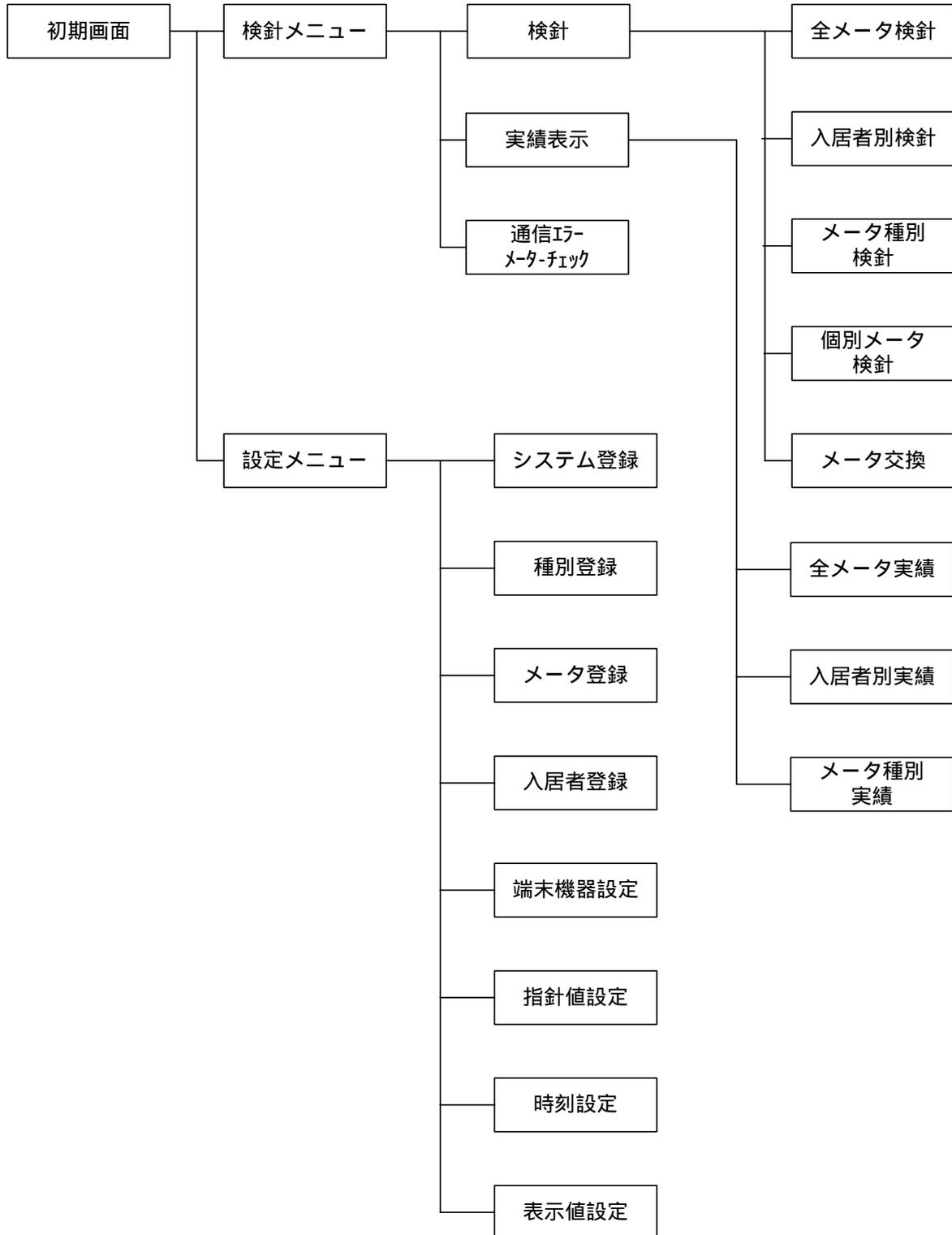


図 4.5

第 5 章

基本操作

この章では、各画面において共通の操作、または基本となる操作を記述しています。

5.1 ボタン

図5.1の に示している四角で囲まれているのが、ボタンとなります。
(注：各ボタンにより、大きさが異なります。)



図5.1 ボタン例

ボタンを操作する場合、画面上のボタンに触れることでボタンを操作できます。

5.2 スイッチ

図5.2の に示しているものがスイッチとなります。



図5.2 スイッチ例

スイッチもボタン同様、画面上のスイッチを触れることで、スイッチを操作できます。図5.2では、設定は「全て」が選択されています。

5.3 電卓

図5.3が電卓となります。電卓を用いて数値を記入します。

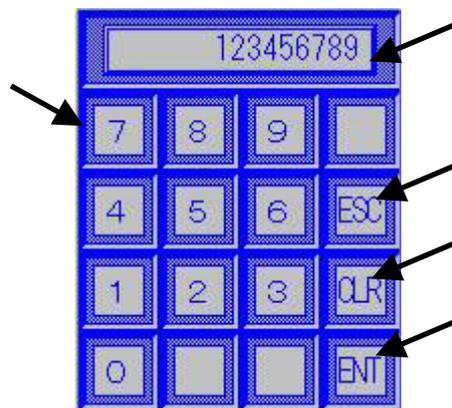


図5.3 電卓

数値表示。入力されている値が表示されます。

テンキー(0～9)。数字を押すと、押された数字が 数値表示に表示されます。

ESCキー。入力をキャンセルします。電卓が消え、入力した値は反映されません。

CLRキー。数値表示を0にもどします。

ENTキー。 数値表示の値を設定値として反映させます。

5.4 カレンダー設定

時刻・月日を修正したい場合にカレンダー設定を行います。

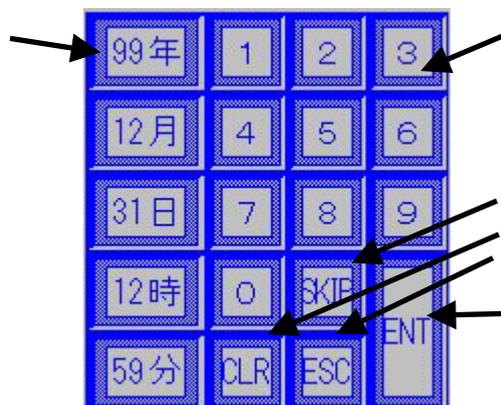


図5.4 カレンダー設定

テンキー(0～9)。数字を押すと、押された数字が に表示されます。

S K I Pキー。編集項目を移動します。

C L Rキー。編集項目を初期化します。

E S Cキー。編集を中断して、カレンダー設定を終了します。

E N Tキー。編集を終了して、表示されている値をカレンダーに反映します。

年月日時刻キー。月日・時刻を表しています。編集したい項目を押すと、押された項目が点滅します。点滅状態が編集可能な項目となります。

操作方法(例)

選択したい項目を選択(選択した項目が点滅します)

数値を入力

設定終了

5.5 漢字入力

名称入力等における漢字入力方法について記述します。



図5.5 漢字入力

文字表示。記入した文字が表示されます。

BSキー。一文字削除します。

ESCキー。入力を中断して、漢字入力を終了します。

ENTキー。入力を終了して、表示されている値をシステムに反映します。

上下キー。文字の選択に使用します。

文字選択。「第二漢字」、「記号」、「ヒラガナ」、「カタカナ」を選択します。

文字入力キー1。漢字、記号、ヒラガナ、カタカナが表示されます。

入力したい文字を押すと に反映されます。

文字入力キー2。音読みで入力したい文字の候補を上の に表示させるために使用します。

操作方法(例)

音読みで漢字等の候補を選択します。

に表示された候補から、記入したいものが無い場合は、 の上下キーを操作して、文字を探します。

に記入したい文字があった場合、その文字を押します。 の表示に反映されません。

(繰り返し)

入力終了

5.6 英数入力

名称入力等における英数入力方法について記述します。

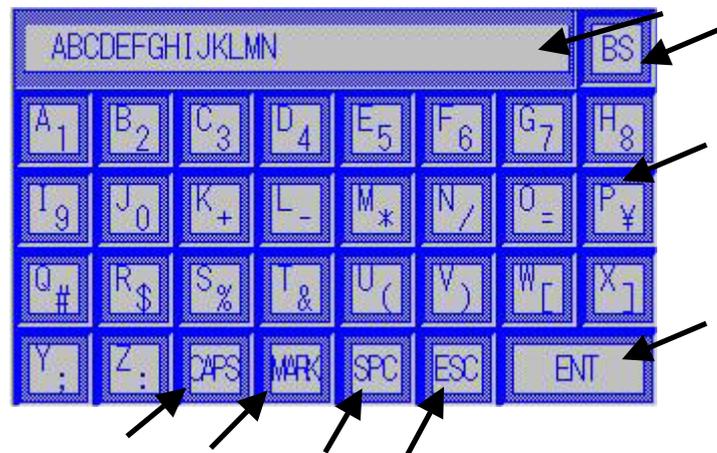


図5.6 英数入力

文字表示。記入した文字が表示されます。

BSキー。一文字削除します。

文字入力キー。押した値が に表示されます。

ENTキー。入力を終了して、表示されている値をシステムに反映させます。

CAPSキー。大文字、小文字の選択をします。

MARKキー。英字、数値の選択をします。

SPCキー。スペースが表示されます。

ESCキー。入力を中断して、英数入力を終了します。

操作方法(例)

にて英字を入力します。 に文字が反映されます。

を押して、大文字、小文字の切替をします。

を押して数値入力モードにします。

にて数値を入力します。

入力終了

5.7 カタカナ入力

名称入力等におけるカタカナ入力方法について記述します。

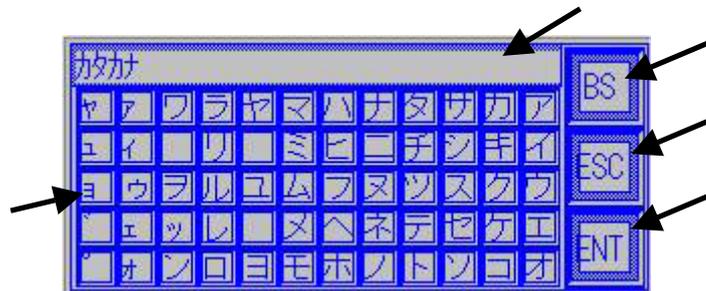


図5.7 カタカナ入力

文字表示。記入した文字が表示されます。

BSキー。一文字削除します。

ESCキー。入力を中断して、英数入力を終了します。

ENTキー。入力を終了して、表示されている値をシステムに反映させます。

文字入力キー。押した値が に表示されます。

操作方法(例)

にてカタカナを入力します。 に文字が反映されます。

を押して一文字消去します。

にてカタカナを入力します。 に文字が反映されます。

入力終了

5.8 「戻る」ボタン

画面の右下に「戻る」と表示されたボタンを押すと、前画面に戻ることができます。

第 6 章

検針方法

この章では、検針メニュー以下の検針方法について記述しています。

注：検針メニュー以下ではデータが更新されません。データを更新したい場合は、他の画面にしておくか、検針画面にて更新ボタンを押す必要があります。

6 . 1 検針選択

検針メニュー画面より、項目を選択し各検針を行います

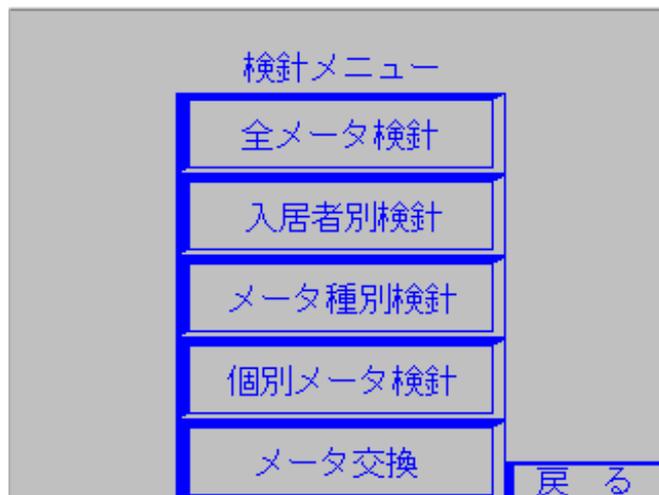


図 6 . 1 検針メニュー画面

6.2 全メータ検針

図6.1から「全メータ検針」を選択すると図6.2の「全メータ検針」画面が表示されます。

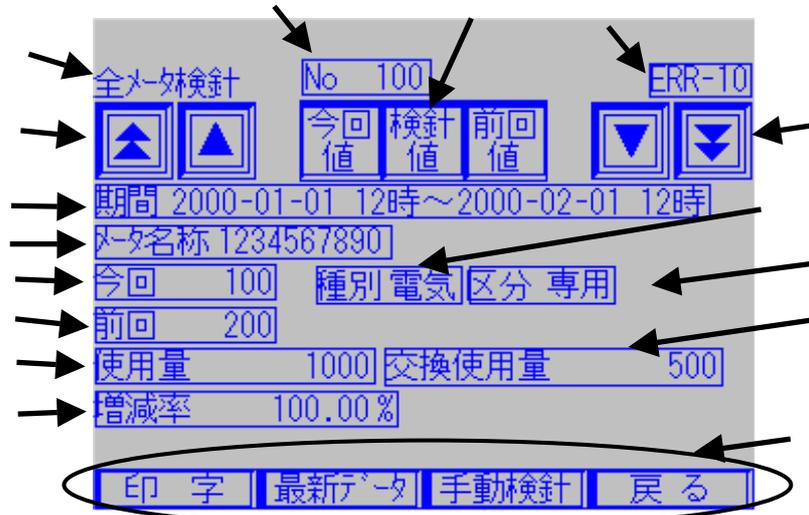


図6.2 全メータ検針

検針の種類を表示します。

現在表示されているアドレスを表示します(1 ~ 100)

通信エラー等のエラーが発生した場合、エラー表示します。(別紙参照)

アドレス移動ボタンです。アドレスを移動します。

- ・上矢印2個ボタンは、「アドレスの10桁目を+1します」
 - ・上矢印1個ボタンは、「アドレスの1桁目を+1します」
 - ・下矢印2個ボタンは、「アドレスの10桁目を-1します」
 - ・下矢印1個ボタンは、「アドレスの1桁目を-1します」
- 「今回値」、「検針値」、「前回値」ボタンです。

それぞれのデータを表示します。

期間です。表記はYYYY-MM-DD hhH となります。

(YYYY:西暦、MM:月、DD:日、hh:時)

メータ名称です(最大半角10文字)。

今回指針値です。TTEより取得した値を表示します。(最大6桁)

前回指針値です。TTEより取得した値を表示します。(最大6桁)

使用量です。今回指針値、前回指針値及び乗率から求めます。(最大9桁)

増減率です。前回使用量と今回使用量の比から求めます。

(0.00 ~ 999.99%)

種別です。メータに設定されている種別が表示されます。(最大半角4文字)

区分です。メータに設定されていく区分が表示されます。(最大半角4文字)

交換使用量です。メータ交換がされた場合はここに交換時の使用量が表示されます。(最大9桁)

「印字」、「最新データ」、「手動検針」、「戻る」の各ボタンです。

6.2.1 全メータ検針データ編集

「今回値」、「前回値」は手動で数値を入力することができます。ただし、入力できるのは「今回値」の数値のみです。



図6.3 全メータ検針

「今回」、「前回」の文字列を押すことで、電卓が表示されます。



図6.4 電卓

電卓に数値を入力し、「ENT」キーを押すことで入力した数値が選択した項目に数値が反映されます。「ESC」キーを押すと手入力は中止されます。

注：数値を手動で入力する際、入力前・入力後のデータを印字実行して下さい。
(データのログを残しておくため)

6.2.2 全メータ検針印字

図6.2 の印字ボタンを押すと図6.5の印字選択画面が表示されます。

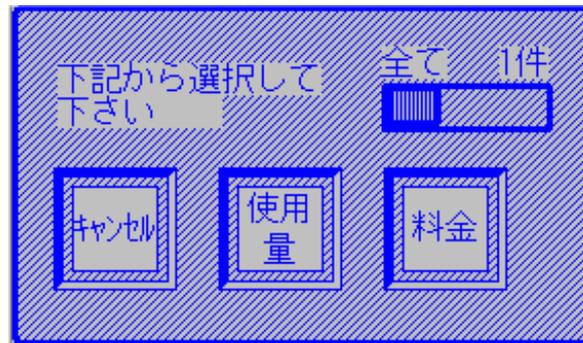


図6.5 印字選択

「使用量」ボタンを押すと使用量がプリンタより印字されます。

「料金」ボタンを押すと料金がプリンタより印字されます。

印字中にキャンセルボタンを押した場合、印字がキャンセルされます。

(即時キャンセルではありません。プリンタバッファ分は印字されます。)

印字中はキャンセルボタン以外触らないようにして下さい。

6.2.3 最新データ

最新データを実行することで、現在通信している値が反映されます。手入力で入力した今回値は消えてしまう可能性があるため、注意して下さい。

図6.2 の最新データボタンを押すと図6.6の確認画面が表示されます。



図6.6 最新データ変更確認

ここで実行ボタンを押すと最新データに表示が変更されます。

キャンセルボタンを押すと実行されません。

6.2.4 手動検針

手動検針を行うと現在までの値が前回になり、今回使用量を0にもどし再計算・再計量していきます。(全メータが対象です)

図6.2の手動検針ボタンを押すと図6.7の確認画面が表示されます。

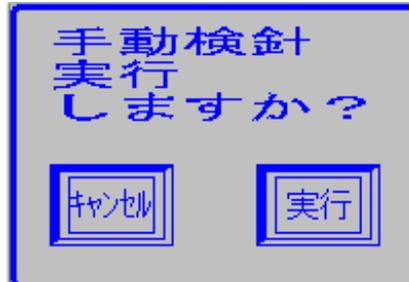


図6.7 手動検針確認

ここで実行ボタンを押すと手動検針が実行されます。
キャンセルボタンを押すと検針は実行されません。

6.3 入居者別検針

図6.1から「入居者別検針」を選択すると図6.8の「入居者別検針」画面が表示されます。

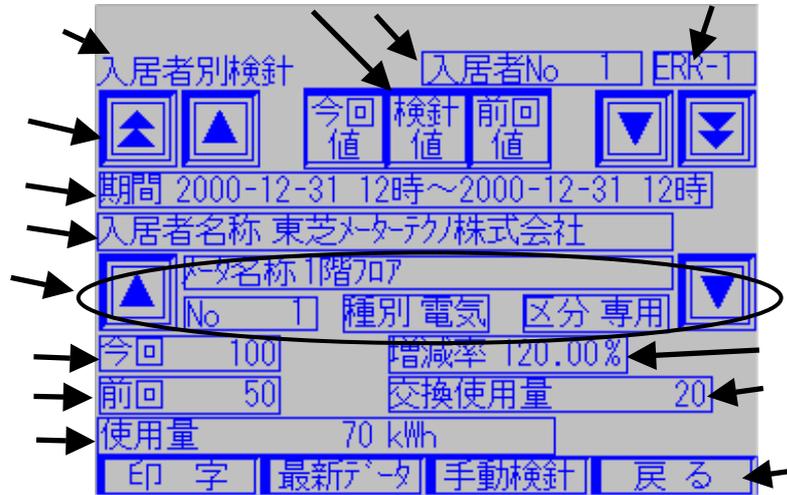


図6.8 入居者別検針

検針の種類を表示します。

現在表示されている入居者Noを表示します(1~100)

通信エラー等のエラーが発生した場合、エラー表示します。(別紙参照)

入居者No移動ボタンです。入居者Noを移動します。

- ・上矢印2個ボタンは、「入居者Noの10桁目を+1します」
 - ・上矢印1個ボタンは、「入居者Noの1桁目を+1します」
 - ・下矢印2個ボタンは、「入居者Noの10桁目を-1します」
 - ・下矢印1個ボタンは、「入居者Noの1桁目を-1します」
- 「今回値」、「検針値」、「前回値」ボタンです。

それぞれのデータを表示します。

期間です。表記はYYYY-MM-DD hhHとなります。

(YYYY:西暦、MM:月、DD:日、hh:時)

入居者名称です(最大半角20文字)。

アドレス選択です。入居者に対して対応するメータが表示されます。

ボタンを使用することでアドレスを移動させます。

今回指針値です。TTEより取得した値を表示します。(最大6桁)

前回指針値です。TTEより取得した値を表示します。(最大6桁)

使用量です。今回指針値、前回指針値及び乗率から求めます。(最大9桁)

増減率です。前回使用量と今回使用量の比から求めます。

(0.00~999.99%)

交換使用量です。メータ交換がされた場合はここに交換時の使用量が表示されま

す。(最大9桁)

「印字」、「最新データ」、「手動検針」、「戻る」の各ボタンです。

6.3.1 入居者別検針データ編集

「今回値」、「前回値」は手動で数値を入力することができます。ただし、入力できるのは「今回値」の数値のみです。

図6.9 入居者別検針

「今回」、「前回値」の文字列を押すことで、電卓が表示されます。



図6.10 電卓

電卓に数値を入力し、「ENT」キーを押すことで入力した数値が選択した項目に数値が反映されます。「ESC」キーを押すと手入力は中止されます。

注：数値を手動で入力する際、入力前・入力後のデータを印字実行して下さい。
(データのログを残しておくため)

6.3.2 入居者別検針印字

図6.8 の印字ボタンを押すと図6.11の印字選択画面が表示されます。

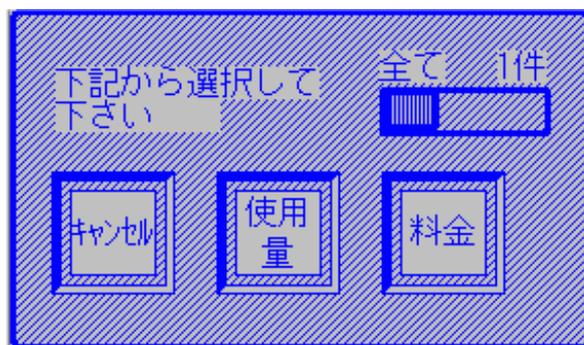


図6.11 印字選択

「使用量」ボタンを押すと使用量がプリンタより印字されます。

「料金」ボタンを押すと料金がプリンタより印字されます。

印字中にキャンセルボタンを押した場合、印字がキャンセルされます。

(即時キャンセルではありません。プリンタバッファ分は印字されます。)

印字中はキャンセルボタン以外触らないようにして下さい。

6.3.3 最新データ

最新データを実行することで、現在通信している値が反映されます。手入力を入力した今回値は消えてしまう可能性があるため、注意して下さい。

図6.8 の最新データボタンを押すと図6.12の確認画面が表示されます。

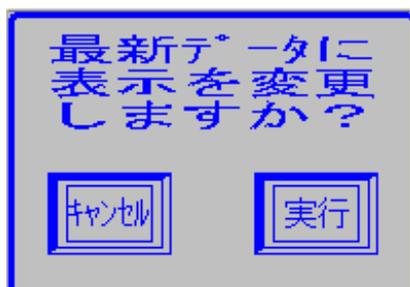


図6.12 最新データ変更確認

ここで実行ボタンを押すと最新データに表示が変更されます。

キャンセルボタンを押すと実行されません。

6.3.4 手動検針

手動検針を行うと現在までの値が前回になり、今回使用量を0にもどし再計算・再計量していきます。（表示されている入居者のメータのみが対象です）

図6.8の手動検針ボタンを押すと図6.13の確認画面が表示されます。

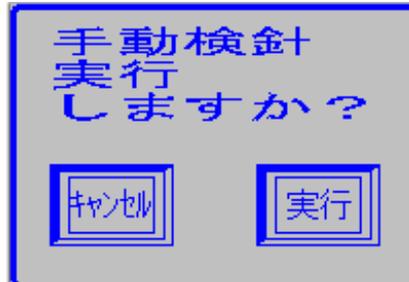


図6.13 手動検針確認

ここで実行ボタンを押すと手動検針が実行されます。
キャンセルボタンを押すと検針は実行されません。

6.4 メータ種別検針

図6.1から「メータ種別検針」を選択すると図6.14の「メータ種別検針」画面が表示されます。

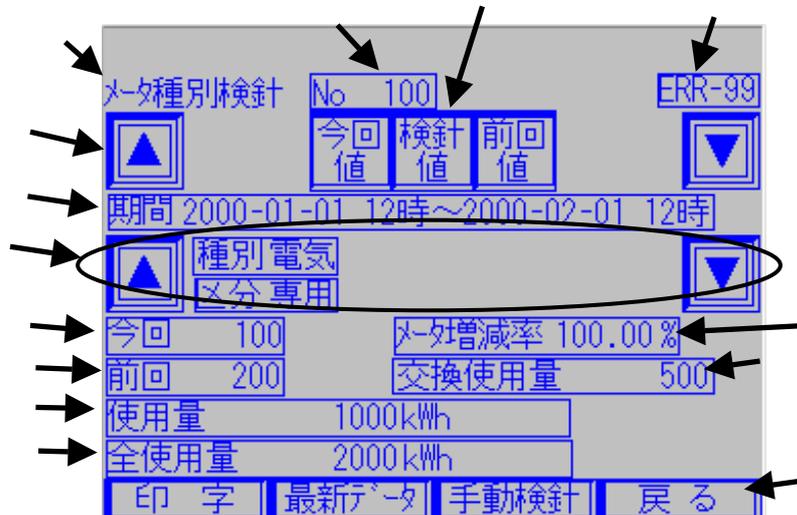


図6.14 メータ種別検針

検針の種類を表示します。

現在表示されているアドレスを表示します(1 ~ 100)

通信エラー等のエラーが発生した場合、エラー表示します。(別紙参照)

メータ種別移動ボタンです。種別Noを移動します。

「今回値」、「検針値」、「前回値」ボタンです。

それぞれのデータを表示します。

期間です。表記はYYYY-MM-DD hhHとなります。

(YYYY:西暦、MM:月、DD:日、hh:時)

アドレス選択です。種別毎に対応するメータが表示されます。

ボタンを使用することでアドレスを移動させます。

また、種別、区分の表示もします。

今回指針値です。TTEより取得した値を表示します。(最大6桁)

前回指針値です。TTEより取得した値を表示します。(最大6桁)

使用量です。今回指針値、前回指針値及び乗率から求めます。(最大9桁)

全使用量です。種別毎の使用量を表示します。

増減率です。前回使用量と今回使用量の比から求めます。

(0.00 ~ 999.99%)

交換使用量です。メータ交換がされた場合はここに交換時の使用量が表示されま
す。(最大9桁)

「印字」、「最新データ」、「手動検針」、「戻る」の各ボタンです。

6.4.1 メータ種別検針データ編集

「今回値」、「前回値」は手動で数値を入力することができます。ただし、入力できるのは「今回値」の数値のみです。

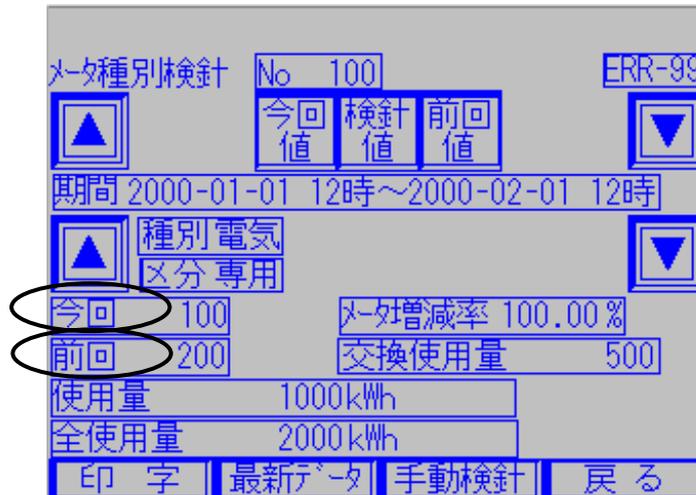


図6.15 メータ種別検針

「今回」、「前回」の文字列を押すことで、電卓が表示されます。



図6.16 電卓

電卓に数値を入力し、「ENT」キーを押すことで入力した数値が選択した項目に数値が反映されます。「ESC」キーを押すと手入力は中止されます。

注：数値を手動で入力する際、入力前・入力後のデータを印字実行して下さい。
(データのログを残しておくため)

6.4.2 メータ種別検針印字

図6.14 の印字ボタンを押すと図6.17の印字選択画面が表示されます。

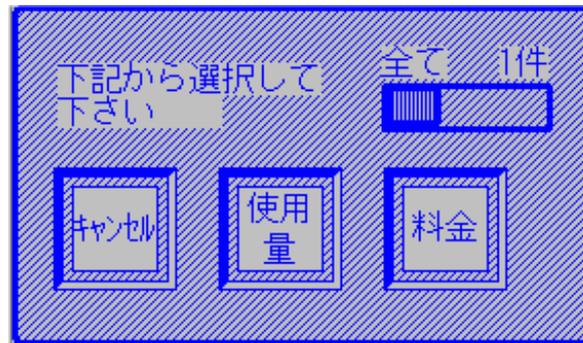


図6.17 印字選択

「使用量」ボタンを押すと使用量がプリンタより印字されます。

「料金」ボタンを押すと料金がプリンタより印字されます。

印字中にキャンセルボタンを押した場合、印字がキャンセルされます。

(即時キャンセルではありません。プリンタバッファ分は印字されます。)

印字中はキャンセルボタン以外触らないようにして下さい。

6.4.3 最新データ

最新データを実行することで、現在通信している値が反映されます。手入力で入力した今回値は消えてしまう可能性があるため、注意して下さい。

図6.14 の最新データボタンを押すと図6.18の確認画面が表示されます。

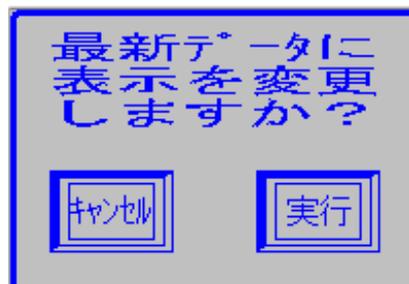


図6.18 最新データ変更確認

ここで実行ボタンを押すと最新データに表示が変更されます。キャンセルボタンを押すと実行されません。

6.4.4 手動検針

手動検針を行うと現在までの値が前回になり、今回使用量を0にもどし再計算・再計量していきます。（表示されている種別のメータが対象です）

図6.14の手動検針ボタンを押すと図6.19の確認画面が表示されます。

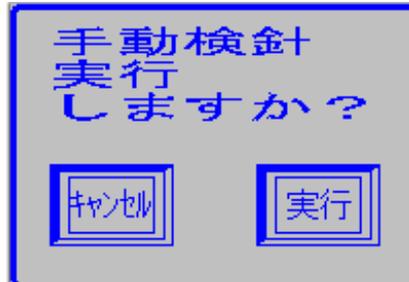


図6.19 手動検針確認

ここで実行ボタンを押すと手動検針が実行されます。
キャンセルボタンを押すと検針は実行されません。

6.5 個別メータ検針

図6.1から「個別メータ検針」を選択すると図6.20の「全メータ検針」画面が表示されます。

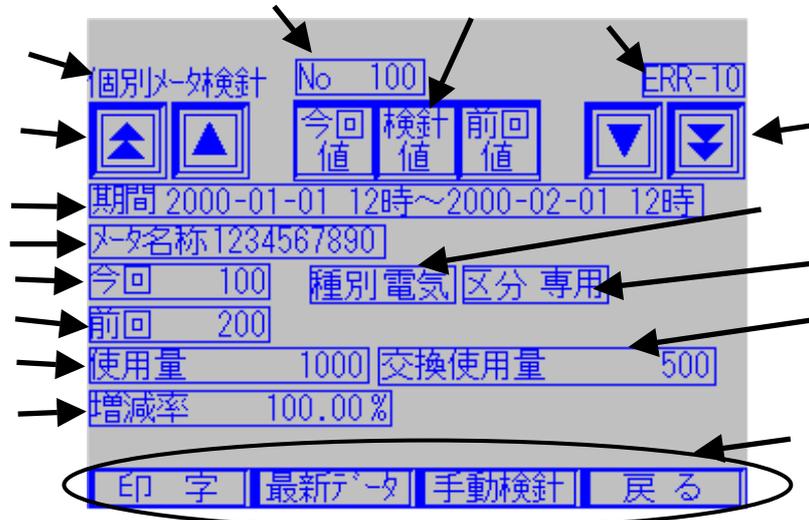


図6.20 個別メータ検針

検針の種類を表示します。

現在表示されているアドレスを表示します(1 ~ 100)

通信エラー等のエラーが発生した場合、エラー表示します。(別紙参照)

アドレス移動ボタンです。アドレスを移動します。

- ・上矢印2個ボタンは、「アドレスの10桁目を+1します」
- ・上矢印1個ボタンは、「アドレスの1桁目を+1します」
- ・下矢印2個ボタンは、「アドレスの10桁目を-1します」
- ・下矢印1個ボタンは、「アドレスの1桁目を-1します」

「今回」、「検針」、「前回」ボタンです。それぞれのデータを表示します。

期間です。表記はYYYY-MM-DD hhHとなります。

(YYYY:西暦、MM:月、DD:日、hh:時)

メータ名称です(最大半角10文字)。

今回指針値です。TTEより取得した値を表示します。(最大6桁)

前回指針値です。TTEより取得した値を表示します。(最大6桁)

使用量です。今回指針値、前回指針値及び乗率から求めます。(最大9桁)

増減率です。前回使用量と今回使用量の比から求めます。

(0.00 ~ 999.99%)

種別です。メータに設定されている種別が表示されます。(最大半角4文字)

区分です。メータに設定されていく区分が表示されます。(最大半角4文字)

交換使用量です。メータ交換がされた場合はここに交換時の使用量が表示されま
す。(最大9桁)

「印字」、「最新データ」、「手動検針」、「戻る」の各ボタンです。

6.5.1 個別メータデータ編集

「今回値」、「前回値」は手動で数値を入力することができます。ただし、入力できるのは「今回値」の数値のみです。



図6.2.1 個別メータ検針

「今回」、「前回」の文字列を押すことで、電卓が表示されます。



図6.2.2 電卓

電卓に数値を入力し、「ENT」キーを押すことで入力した数値が選択した項目に数値が反映されます。「ESC」キーを押すと手入力は中止されます。

注：数値を手動で入力する際、入力前・入力後のデータを印字実行して下さい。
(データのログを残しておくため)

6.5.2 全個別メータ検針印字

図6.20 の印字ボタンを押すと図6.23の印字選択画面が表示されます。

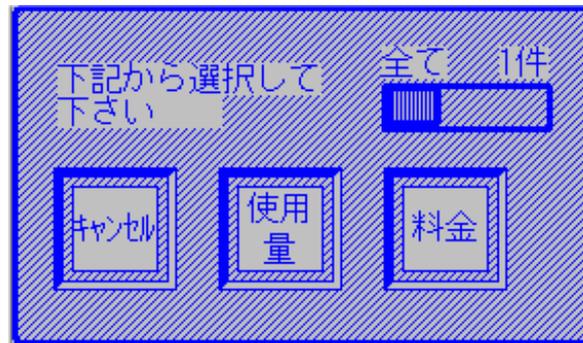


図6.23 印字選択

「使用量」ボタンを押すと使用量がプリンタより印字されます。

「料金」ボタンを押すと料金がプリンタより印字されます。

印字中にキャンセルボタンを押した場合、印字がキャンセルされます。

(即時キャンセルではありません。プリンタバッファ分は印字されます。)

印字中はキャンセルボタン以外触らないようにして下さい。

6.5.3 最新データ

最新データを実行することで、現在通信している値が反映されます。手入力で入力した今回値は消えてしまう可能性があるため、注意して下さい。

図6.20 の最新データボタンを押すと図6.24の確認画面が表示されます。

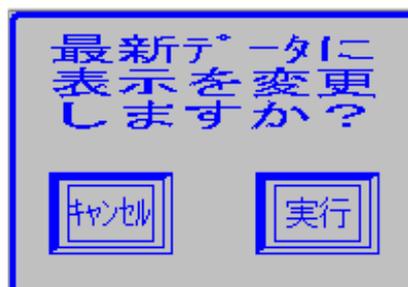


図6.24 更新確認

ここで実行ボタンを押すと最新データに表示が変更されます。キャンセルボタンを押すと実行されません。

6.5.4 手動検針

手動検針を行うと現在までの値が前回になり、今回使用量を0にもどし再計算・再計量していきます。（現在選択されているメータのみが対象です）

図6.20の手動検針ボタンを押すと図6.25の確認画面が表示されます。



図6.25 手動検針確認

ここで実行ボタンを押すと手動検針が実行されます。
キャンセルボタンを押すと検針は実行されません。

6.6 メータ交換検針

図6.1から「メータ交換」を選択すると図6.26の「メータ交換検針」画面が表示されます。

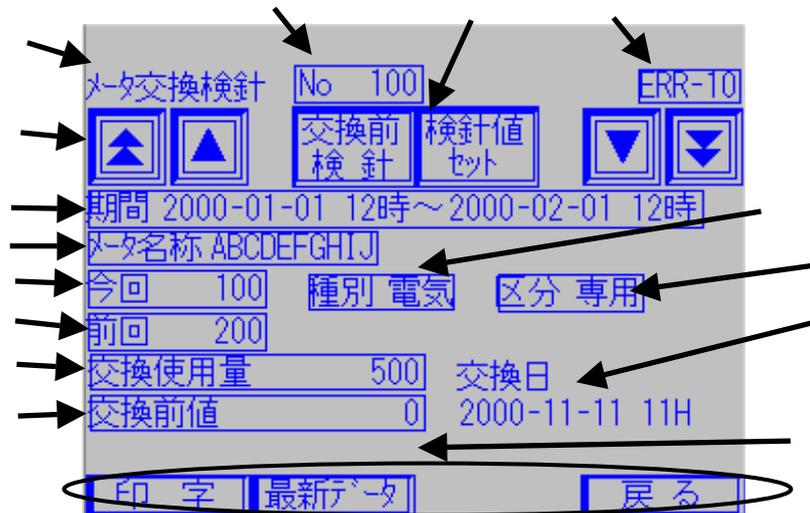


図6.26 メータ交換検針

検針の種類を表示します。

現在表示されているアドレスを表示します(1 ~ 100)

通信エラー等のエラーが発生した場合、エラー表示します。(別紙参照)

アドレス移動ボタンです。アドレスを移動します。

- ・上矢印2個ボタンは、「アドレスの10桁目を+1します」
- ・上矢印1個ボタンは、「アドレスの1桁目を+1します」
- ・下矢印2個ボタンは、「アドレスの10桁目を-1します」
- ・下矢印1個ボタンは、「アドレスの1桁目を-1します」

「交換前検針」、「検針値セット」ボタンです。それぞれデータを確定する時に使用します。

期間です。表記はYYYY-MM-DD hhH となります。

(YYYY:西暦、MM:月、DD:日、hh:時)

メータ名称です(最大半角10文字)。

今回指針値です。TTEより取得した値を表示します。(最大6桁)

前回指針値です。TTEより取得した値を表示します。(最大6桁)

交換使用量です。今回指針値、前回指針値及び乗率から求めます。(最大9桁)

交換前値です。前回使用量と今回使用量の比から求めます。

種別です。メータに設定されている種別が表示されます。(最大半角4文字)

区分です。メータに設定されていく区分が表示されます。(最大半角4文字)

交換日です。交換をした日が表示されます。

現在交換中のメータアドレスを表示します。

「印字」、「最新データ」、「戻る」の各ボタンです。

6.6.1 メータ交換検針データ編集

「今回検針値」、「前回検針値」、「交換使用量」は手動で数値を入力することができます。

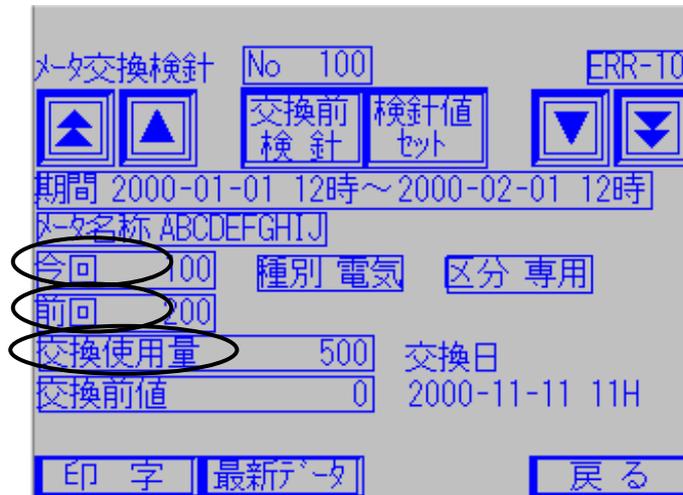


図6.27 メータ交換検針

「今回」、「前回」、「交換使用量」の文字列を押すことで、電卓が表示されます。



図6.28 電卓

電卓に数値を入力し、「ENT」キーを押すことで入力した数値が選択した項目に数値が反映されます。「ESC」キーを押すと手入力は中止されます。

注：数値変換には以下の制約があります。

	メータ変換前	メータ変換後	検針値セツト後
今回値			
前回値	×		
交換使用量	×		

：変更可能、×：変更不可

6.6.2 メータ交換検針印字

図6.26の印字ボタンを押すと図6.29のような印字選択画面が表示されます。

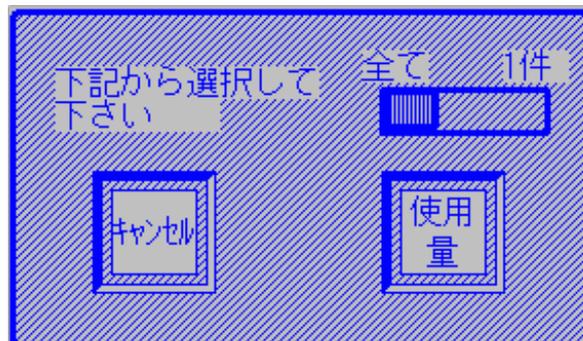


図6.29 印字選択

「使用量」ボタンを押すと使用量がプリンタより印字されます。
 印字中にキャンセルボタンを押した場合、印字がキャンセルされます。
 (即時キャンセルではありません。プリンタバッファ分は印字されます。)
 印字中はキャンセルボタン以外触らないようにして下さい。

6.6.3 最新データ

更新を実行することで、現在通信している値が反映されます。手入力で入力した今回値は消えてしまう可能性があるため、注意して下さい。

図6.26の最新データボタンを押すと図6.30のような確認画面が表示されます。

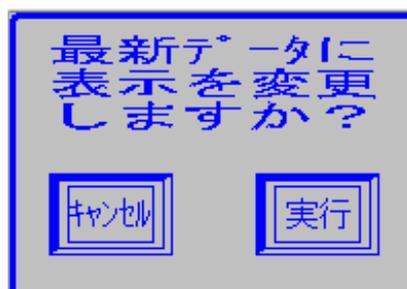
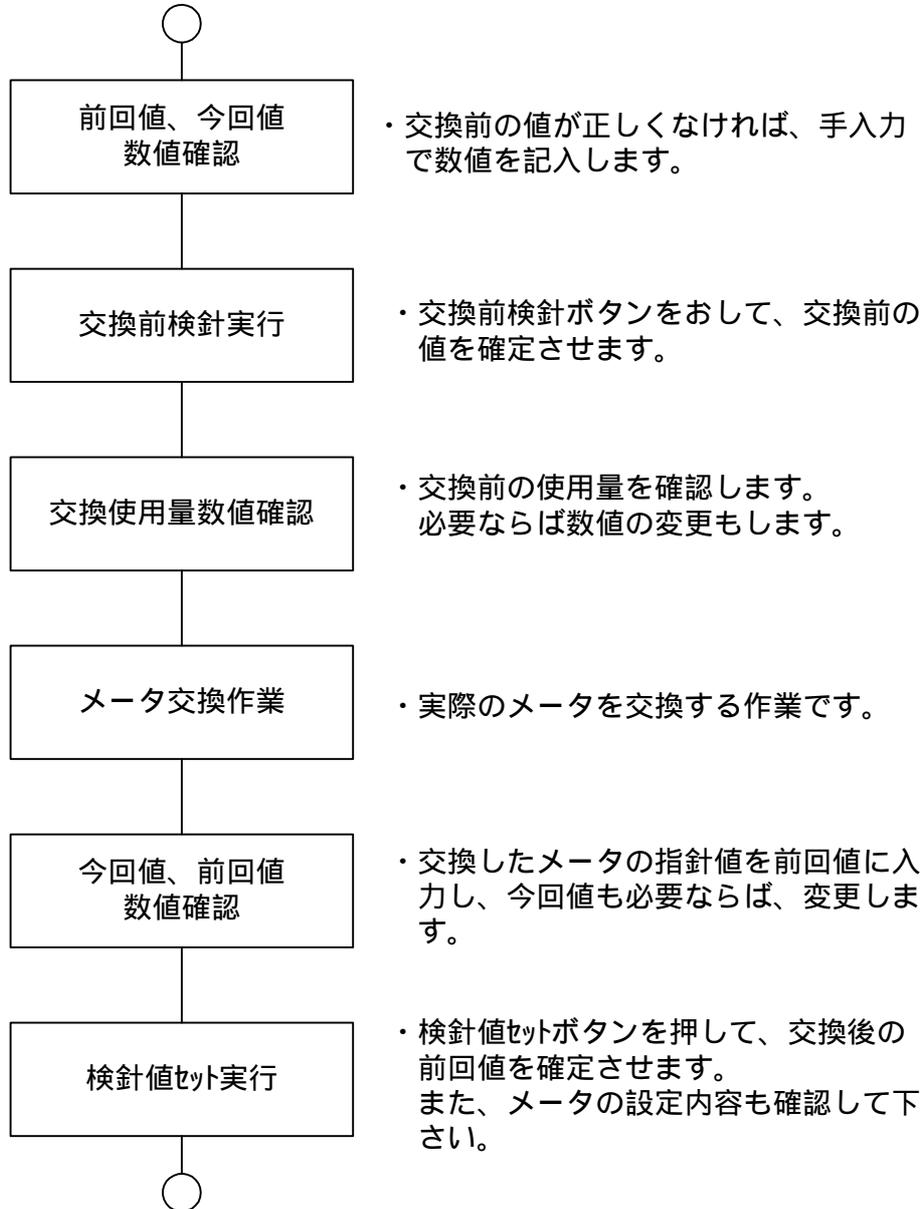


図6.30 更新確認

ここで実行ボタンを押すと手動検針が実行されます。
 キャンセルボタンを押すと検針は実行されません。

6.6.4 メータ交換手順

実際のメータ交換手順について下記に示します。交換するメータのアドレスを指定してから行って下さい。



以上で通常のメータ交換処理は終了です。
最後の検針値セットを行わないと図6.26に交換中のメッセージがでます。
検針値セットを行わない場合、数値が正常に出力されない場合があります。
また、交換中に入力した値はセットされていないので、印字等には反映されま
せん。検針値セットを実行すると、数値はシステムに反映されます。

6.7 検針の注意事項

前回値、今回値、使用量、交換使用量はアドレスごとに保存されています。
つまり、1つのメータにつき1つの値しか保持していません。
検針の種類を変えて検針する際は注意する必要があります。
(メータ種別検針、入居者別検針、個別検針、メータ交換検針)

第7章

通信エラーメータチェック

この章では、通信エラーメータチェックについて記述しています。
検針前等に用いることで通信エラーが起こっていないかどうかを調べることができます。

7.1 通信エラーメータチェック

検針メニュー画面より、通信エラーメータチェックボタンを押すと図7.1の画面が表示されます。

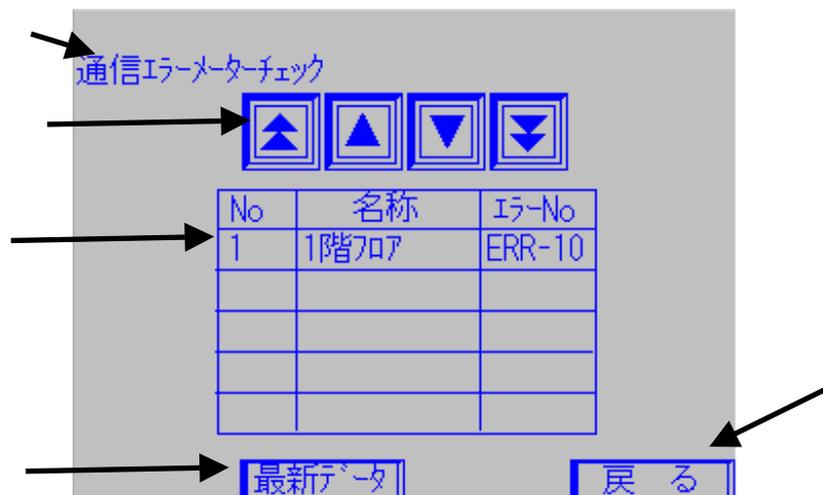


図7.1 通信エラーメータチェック画面

通信エラーメータチェック画面が表示されていることを示しています。
エラー発生アドレスNo移動ボタンです。エラー発生中のアドレスNoを移動します。

- ・上矢印2個ボタンは、「エラー発生アドレスNoを+10します」
- ・上矢印1個ボタンは、「エラー発生アドレスNoを+1します」
- ・下矢印2個ボタンは、「エラー発生アドレスNoを-10します」
- ・下矢印1個ボタンは、「エラー発生アドレスNoを-1します」

現在表示されているエラー発生アドレスNo、メータ名称、エラーNoを表示します。

通信エラー等のエラーが発生した場合、エラー表示します。(別紙参照)

「最新データ」ボタンです。最新のエラー表示をします。

「戻る」ボタンです。前の画面に戻ります。

第 8 章

実績表示

この章は、実績表示について記述しています。
実績は一日ごとの各メータの使用量を保持、表示します。実績表示メニュー以下の実績表示方法について記述します。

8 . 1 実績表示選択

実績表示メニュー画面より、項目を選択し各実績表示を行います

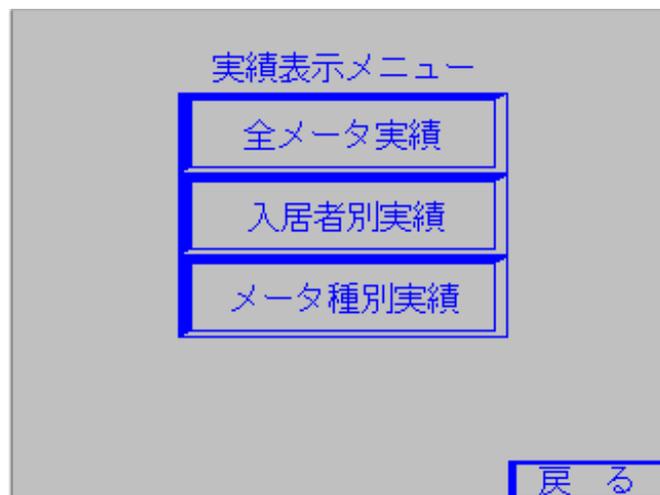


図 8 . 1 実績表示メニュー画面

8.2 全メータ実績表示

図 8.1 から「全メータ実績」を選択すると図 8.2 の「全メータ実績」画面が表示されます。



図 8.2 全メータ実績

実績の種類を表示します。

アドレス移動ボタンです。アドレスを移動します。

- ・上矢印 2 個ボタンは、「アドレスを + 5 します」
- ・上矢印 1 個ボタンは、「アドレスを + 1 します」
- ・下矢印 1 個ボタンは、「アドレスを - 1 します」
- ・上矢印 2 個ボタンは、「アドレスを - 5 します」

期間です。表記は YYYY - MM - DD となります。

日付移動ボタンです。日付を移動します。

- ・上矢印 2 個ボタンは、「日付を + 10 します」
- ・上矢印 1 個ボタンは、「日付を + 1 します」
- ・下矢印 1 個ボタンは、「日付を - 1 します」
- ・下矢印 2 個ボタンは、「日付を - 10 します」

日付は 62 日間分保持します。最新の日付 + 1 の移動があった場合は通常ならば 62 日前のデータ表示されるようになります。

「ADD」、「名称」、「使用量」、「単位」それぞれを表示します。

「印字」「戻る」の各ボタンです。

8.2.1 全メータ実績印字

図 8.2 の印字ボタンを押すと図 8.3 の印字選択画面が表示されます。

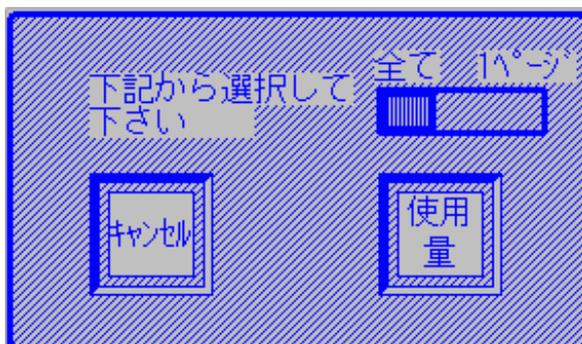


図 8.3 印字選択

「使用量」ボタンを押すと使用量がプリンタより印字されます。
印字中にキャンセルボタンを押した場合、印字がキャンセルされます。
(即時キャンセルではありません。プリンタバッファ分は印字されます。)
印字中はキャンセルボタン以外触らないようにして下さい。

8.3 入居者別実績表示

図 8.1 から「入居者別実績」を選択すると図 8.5 の「入居者別実績」画面が表示されます。

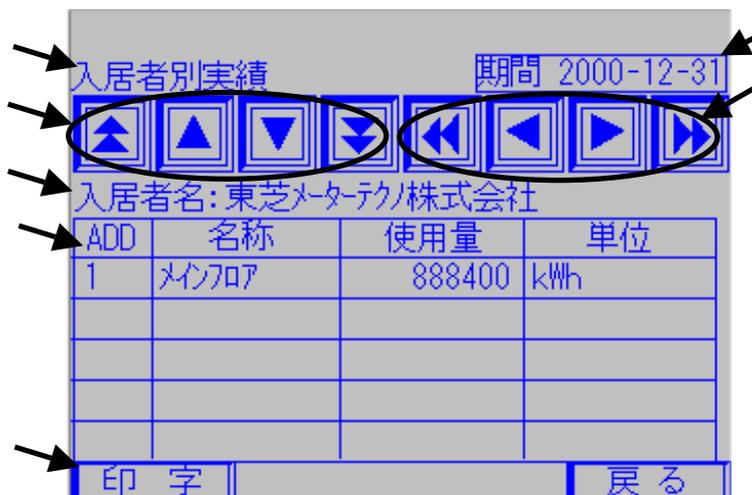


図 8.5 入居者別実績

実績の種類を表示します。

入居者、アドレス移動ボタンです。アドレスを移動します。

- ・ 上矢印 2 個ボタンは、「入居者 No を +1 します」
- ・ 上矢印 1 個ボタンは、「アドレスを +1 します」
- ・ 下矢印 1 個ボタンは、「アドレスを - 1 します」
- ・ 上矢印 2 個ボタンは、「入所者 No を - 1 します」

期間です。表記は YYYY - MM - DD となります。

日付移動ボタンです。日付を移動します。

- ・ 上矢印 2 個ボタンは、「日付を + 10 します」
- ・ 上矢印 1 個ボタンは、「日付を + 1 します」
- ・ 下矢印 1 個ボタンは、「日付を - 1 します」
- ・ 下矢印 2 個ボタンは、「日付を - 10 します」

日付は 62 日間分保持します。最新の日付 + 1 の移動があった場合は通常ならば 62 日前のデータ表示されるようになります。

入居者名が表示されます。

「ADD」、「名称」、「使用量」、「単位」それぞれを表示します。

「印字」、「戻る」の各ボタンです。

8.3.1 入居者別実績印字

図 8.5 の印字ボタンを押すと図 8.6 の印字選択画面が表示されます。

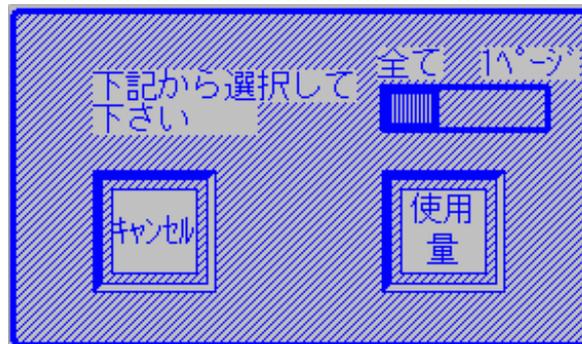


図 8.6 印字選択

「使用量」ボタンを押すと使用量がプリンタより印字されます。
印字中にキャンセルボタンを押した場合、印字がキャンセルされます。
(即時キャンセルではありません。プリンタバッファ分は印字されます。)
印字中はキャンセルボタン以外触らないようにして下さい。

8.4.1 メータ種別実績表示

図 8.1 から「メータ種別実績」を選択すると図 8.7 の「メータ種別実績」画面が表示されます。

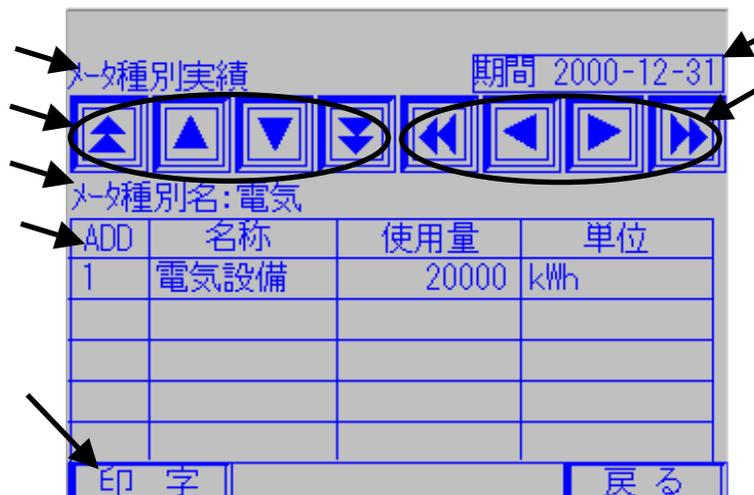


図 8.7 メータ種別実績

実績の種類を表示します。

入居者、アドレス移動ボタンです。アドレスを移動します。

- ・上矢印 2 個ボタンは、「種別 No を +1 します」
- ・上矢印 1 個ボタンは、「アドレスを +1 します」
- ・下矢印 1 個ボタンは、「アドレスを - 1 します」
- ・下矢印 2 個ボタンは、「種別 No を - 1 します」

期間です。表記は YYYY - MM - DD となります。

日付移動ボタンです。日付を移動します。

- ・上矢印 2 個ボタンは、「日付を + 10 します」
- ・上矢印 1 個ボタンは、「日付を + 1 します」
- ・下矢印 1 個ボタンは、「日付を - 1 します」
- ・下矢印 2 個ボタンは、「日付を - 10 します」

日付は 62 日間分保持します。最新の日付 + 1 の移動があった場合は通常ならば 62 日前のデータ表示されるようになります。

入居者名が表示されます。

「ADD」、「名称」、「使用量」、「単位」それぞれを表示します。

「印字」、「戻る」の各ボタンです。

8 . 4 . 1 メータ種別実績印字

図 8 . 7 の印字ボタンを押すと図 8 . 8 の印字選択画面が表示されます。

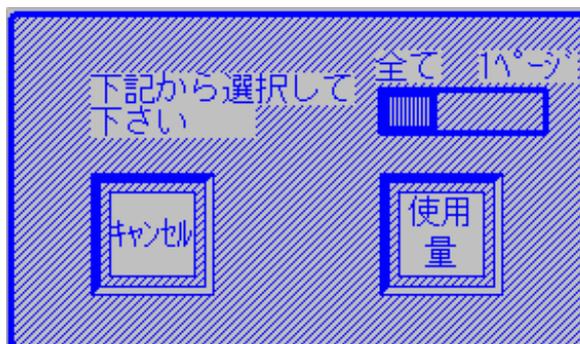


図 8 . 8 印字選択

「使用量」ボタンを押すと使用量がプリンタより印字されます。
印字中にキャンセルボタンを押した場合、印字がキャンセルされます。
(即時キャンセルではありません。プリンタバッファ分は印字されます。)
印字中はキャンセルボタン以外触らないようにして下さい。

第 9 章

設定メニュー

この章では、設定メニューの各メンテナンス方法について記述します。
下図設定メニューの各項目について説明していきます。

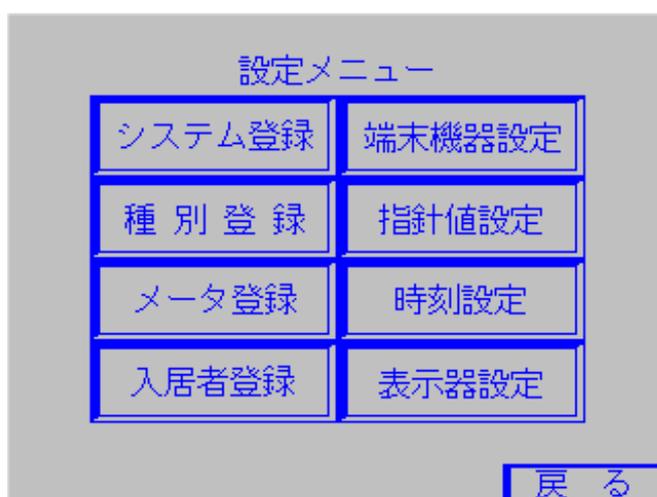


図 9 . 1 設定メニュー画面

9.1 システム登録

図9.1のシステム登録ボタンを押すことで図9.2の画面が表示されます。

システム登録

印字表題
ABCDEFGHIJ

システム選択 ABCDEFGHIJ ID=123

検針選択 ABCDEFGH 自動更新する

消費税率 0%

印字 戻る

図9.2 システム登録メニュー

「印字表題」です。プリンタで印字する際の先頭に記入されます。

(最大半角10文字)

「システム選択」です。「上位伝送」モードか「スタンドアロン」モードの設定をします。また、3桁のID番号の設定をします。

「検針選択」です。「手動検針」か「自動検針」を選択します。また、自動更新のする・しないを設定します。

「消費税率」です。消費税率を設定します。

(0～100の整数値)

「印字」ボタンです。現在設定されているシステム登録が印字されます。

「戻る」ボタンです。メンテナンスメニュー画面にもどります。

〔印字表題登録方法〕

の印字表題ボックスを押すと図 9 . 3 の画面が表示されますので、登録したい文字を選択し、文字を入力していきます。

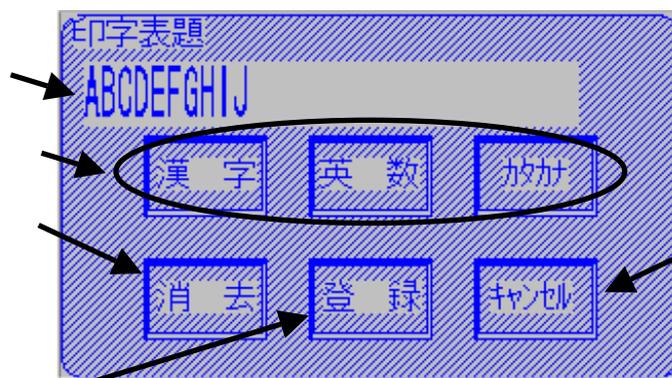


図 9 . 3 印字表題登録

編集中印字表題。

漢字、英数、カタカナの選択ボタン。押したボタンにしたがって各文字入力画面が表示されます。（入力方法は第 5 章参照）

消去ボタン。編集中の文字がクリアされます。

登録ボタン。編集中の文字を印字表題として登録します。

キャンセルボタン。編集をキャンセルしてメンテナンスメニュー画面にもどります。

〔システム選択方法〕

の「システム選択」の文字を押すと図 9 . 4 が表示され、「ID」の文字を押すと図 9 . 5 が表示されます。

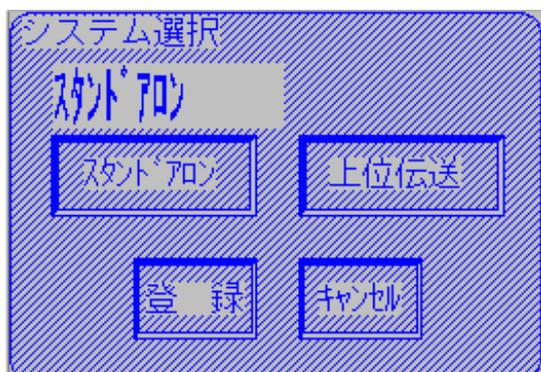


図 9 . 4 印字表題登録

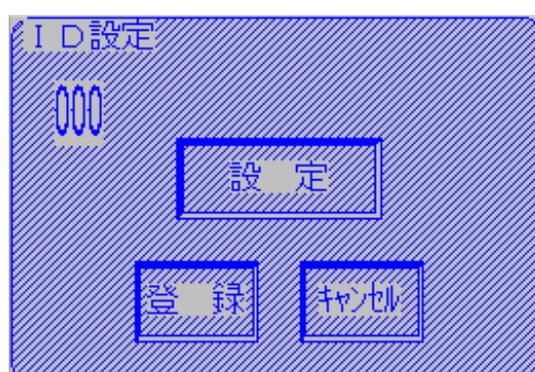


図 9 . 5 印字表題登録

図 9 . 4 の画面では「スタンドアロン」もしくは「上位伝送」のボタンを押して、登録ボタンを押せば、登録完了です。

図 9 . 5 の画面で「設定」ボタンを押すと電卓が表示されますので、電卓で ID を入力して下さい。ID 入力後、登録ボタンを押せば、登録完了です。

どちらもキャンセルボタンを押すと、登録は無効となります。

[検針選択・自動更新設定方法]

の「検針選択」の文字を押すと図9.6が表示され、「自動更新」の文字を押すと図9.7が表示されます。

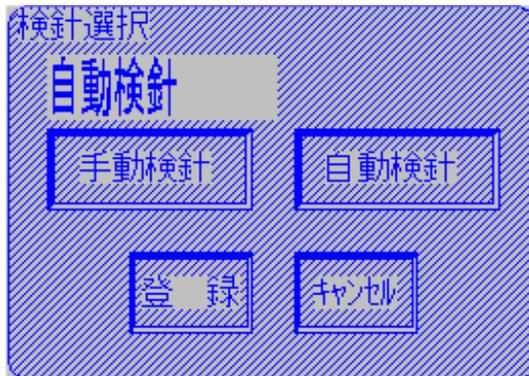


図9.6 検針選択登録

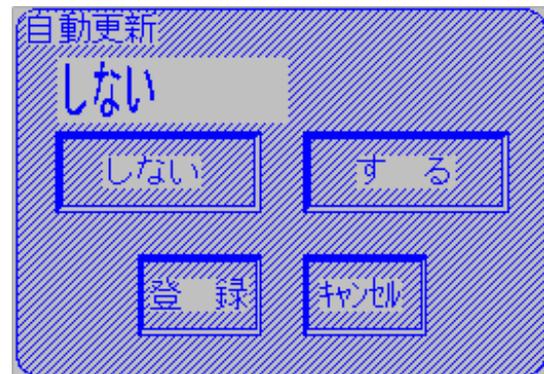


図9.7 自動更新登録

図9.6の画面では「手動検針」もしくは「自動検針」のボタンを押して、登録ボタンを押せば、登録完了です。

図9.7の画面では「しない」もしくは「する」のボタンを押して、登録ボタンを押せば、登録完了です。

どちらもキャンセルボタンを押すと、登録は無効となります。

自動検針・・・種別毎に指定日時で検針します。
 手動検針・・・自動で検針は行いません。ユーザーが各検針画面で検針を行います。
 自動更新する・・・検針時の通信エラーを無視して、検針します。
 自動更新しない・・・検針時、通信エラーがあった場合、メッセージを出し検針を行いません。

[消費税設定方法]

の「消費税率」の文字を押すと図9.8が表示されます。

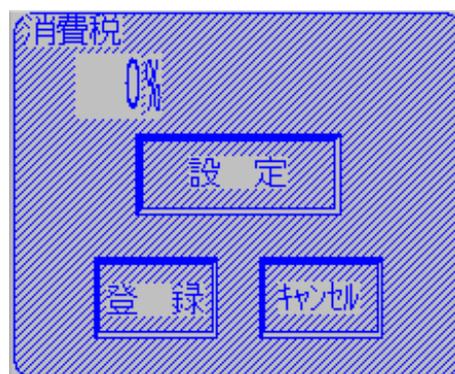


図9.8 消費税率登録

図9.8の画面で「設定」ボタンを押すと電卓が表示されますので、電卓で税率を入力して下さい。税率入力後、登録ボタンを押せば、登録完了です。

キャンセルボタンを押すと、登録は無効となります。

9.2 種別登録

メータの種別を最大 10 個設定することができます。

図 9.1 の種別登録ボタンを押すことで下図のような画面が表示されます。

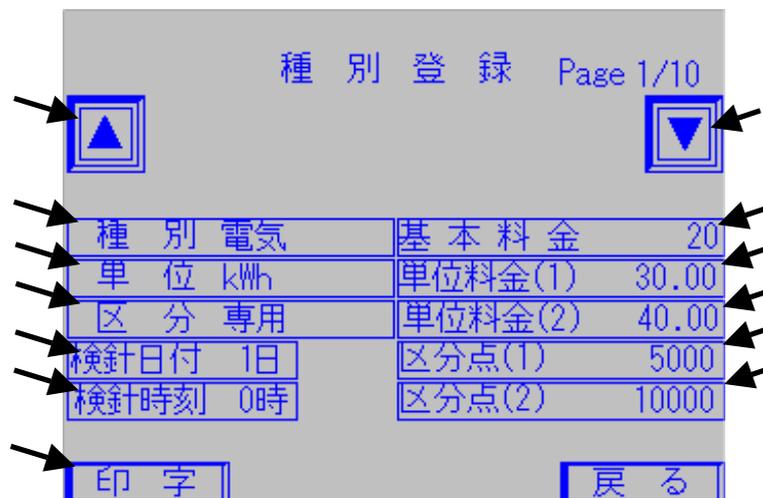


図 9.9 種別登録

「ページ移動ボタン」です。ページ（種別）を移動する際に使用します。
（種別は最大 10 個設定可能です。）

「ページ移動ボタン」です。ページ（種別）を移動する際に使用します。

「種別表示」です。現在設定されている種別名の表示。名称の変更ができます。
（種別名称は最大半角 4 文字です。）

「単位表示」です。現在設定されている単位名の表示。名称の変更ができます。
（単位名称は最大半角 10 文字です。）

「区分表示」です。現在設定されている区分名の表示。名称の変更ができます。

「検針日付」です。現在設定されている検針日付の表示。日付の変更ができます。

（日付の設定は 1 日～28 日が可能です。）

「検針時刻」です。現在設定されている検針時刻の表示。時刻の変更ができます。

（時刻の設定は 0 時～23 時が可能です。）

「基本料金」です。現在設定されている基本料金の表示。基本料金の変更ができます。（P 3 - 2 をご参照下さい）

（料金の設定は 1 円刻み、0 円～9999999 円が可能です。）

「単位料金（1）」です。現在設定されている単位料金（1）の表示。単位料金（1）の変更ができます。（P 3 - 2 をご参照下さい）

（料金の設定は 0.01 円刻み、0 円～99999.99 円が可能です。）

「単位料金（2）」です。現在設定されている単位料金（2）の表示。単位料金（2）の変更ができます。（P 3 - 2 をご参照下さい）

（料金の設定は 0.01 円刻み、0 円～99999.99 円が可能です。）

「区分点（1）」です。現在設定されている区分点（1）の表示。区分点（1）の変更ができます。（P 3 - 2 をご参照下さい）

（区分点の設定は 0～99999 が可能です。）

「区分点（2）」です。現在設定されている区分点（2）の表示。区分点（2）の変更ができます。（P 3 - 2 をご参照下さい）

（区分点の設定は 0～99999 が可能です。）

「印字」です。現在設定されている種別を印字させます。

[種別設定方法]

の「種別」の文字を押すと図9.10が表示されます。

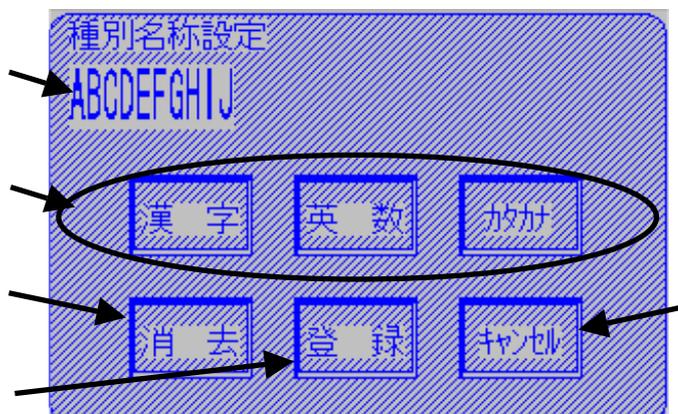


図9.10 種別名称登録

編集中名称。

漢字、英数、カタカナの選択ボタン。押したボタンにしたがって各文字入力画面が表示されます。(入力方法は第5章参照)

消去ボタン。編集中の文字がクリアされます。

登録ボタン。編集中の文字を名称として登録します。

キャンセルボタン。編集をキャンセルしてメンテナンスメニュー画面にもどります。

[種別設定方法]

の「単位」の文字を押すと[種別設定方法]と同じような画面が表示されますので、同じ操作で設定が可能です。

[種別設定方法]

の「区分」の文字を押すと[種別設定方法]と同じような画面が表示されますので、同じ操作で設定が可能です。

[検針日付設定方法]

の「検針日付」の文字を押すと図9.11が表示されます。

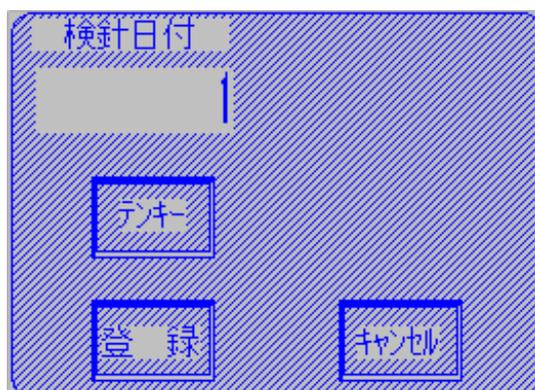


図9.11 検針日付登録

「テンキー」ボタンを押すと、電卓が表示されますので、そこから数値を入力して下さい。

入力後「登録」ボタンを押すと設定が登録されます。

「キャンセル」ボタンを押すと設定はキャンセルされます。

[検針時刻設定方法]

の「検針時刻」の文字を押すと [検針日付設定方法] と同じような画面が表示されますので、同じ操作で設定が可能です。

[基本料金設定方法]

の「基本料金」の文字を押すと [検針日付設定方法] と同じような画面が表示されますので、同じ操作で設定が可能です。

[単位料金(1)設定方法]

の「単位料金(1)」の文字を押すと [検針日付設定方法] と同じような画面が表示されますので、同じ操作で設定が可能です。

注意：電卓に小数点入力がないため、電卓の1桁目が小数点第2位。電卓の2桁目が小数点第1位となります。

例：電卓入力値 99999 設定値 999.99

[単位料金(2)設定方法]

の「単位料金(2)」の文字を押すと [検針日付設定方法] と同じような画面が表示されますので、同じ操作で設定が可能です。

注意：電卓に小数点入力がないため、電卓の1桁目が小数点第2位。電卓の2桁目が小数点第1位となります。

例：電卓入力値 99999 設定値 999.99

[区分点 (1) 設定方法]

の「区分点 (1)」の文字を押すと [検針日付設定方法] と同じような画面が表示されますので、同じ操作で設定が可能です。

[区分点 (2) 設定方法]

の「区分点 (2)」の文字を押すと [検針日付設定方法] と同じような画面が表示されますので、同じ操作で設定が可能です。

[印字方法]

図 9 . 9 の印字ボタンを押すと図 9 . 1 2 の印字選択画面が表示されます

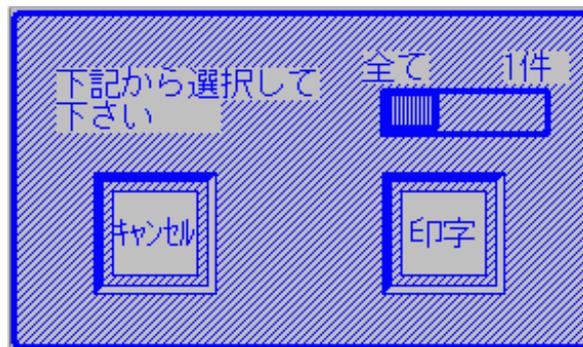


図 9 . 1 2 印字選択

「印字」ボタンを押すと種別がプリンタより印字されます。

印字中にキャンセルボタンを押した場合、印字がキャンセルされます。

(即時キャンセルではありません。プリンタバッファ分は印字されます。)

印字中はキャンセルボタン以外触らないようにして下さい。

9.3 メータ登録

1～100までのメータそれぞれを設定します。

図9.1のメータ登録ボタンを押すことで図9.13の画面が表示されます。

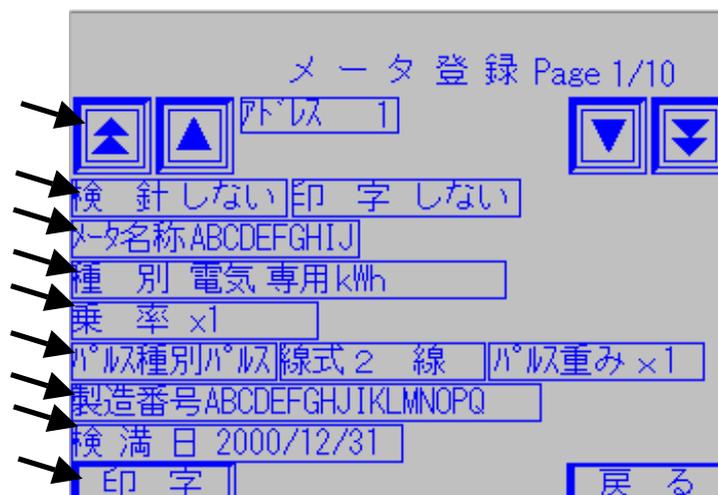


図9.13 メータ登録

「アドレス移動ボタン」です。アドレスを移動する際に使用します。

- ・上矢印2個ボタンは、「アドレスを+10します」
- ・上矢印1個ボタンは、「アドレスを+1します」
- ・下矢印1個ボタンは、「アドレスを-1します」
- ・上矢印1個ボタンは、「アドレスを-10します」

「検針ボタン」・「印字ボタン」です。アドレスごとに検針と印字の選択を行います。

「メータ名称」です。メータ名称の表示。名称の変更ができます。

(メータ名称は最大半角10文字です。)

「種別表示」です。現在設定されている種別の表示。種別の変更ができます。

「乗率表示」です。現在設定されている乗率の表示。乗率の変更ができます。

(設定可能乗率はx0.01、x0.1、x1.0、x10、x100)

「パルス種別」・「線式」・「パルス重み」です。現在設定されている内容の表示。設定の変更ができます。

「製造番号」です。現在設定されている製造番号の表示。製造番号の変更ができます。

(製造番号は最大半角20文字です。)

「検満日」です。現在設定されている検満日の表示。設定の変更ができます。

「印字」です。現在設定されているメータ登録を印字させます。

[検針設定方法]

の「検針」の文字を押すと図9.14が表示されます。
 「する」・「しない」のボタンを押して選択してください。

「する」ボタン・・・検針する
 「しない」ボタン・・・検針しない



図9.14 検針登録選択

[印字設定方法]

の「印字」の文字を押すと[検針設定方法]と同じような画面が表示されます。
 「する」・「しない」のボタンを押して選択してください。

「する」ボタン・・・印字する
 「しない」ボタン・・・印字しない

注：「しない」にすると検針、事前検針で印字されなくなります。
 (入居者別検針、入居者別事前検針は除く)

[メータ名称設定方法]

の「メータ名称」の文字を押すと図9.15が表示されます。

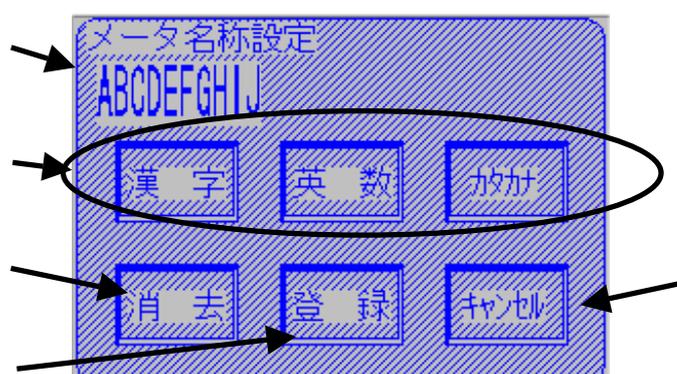


図9.15 メータ名称設定

編集名称。

漢字、英数、カタカナの選択ボタン。押したボタンにしたがって各文字入力画面が表示されます。(入力方法は第5章参照)

消去ボタン。編集名称の文字がクリアされます。

登録ボタン。編集名称の文字を名称として登録します。

キャンセルボタン。編集をキャンセルしてメンテナンスメニュー画面にもどります。

[メータ種別設定方法]

の「種別」の文字を押すと図 9 . 1 6 が表示されます。

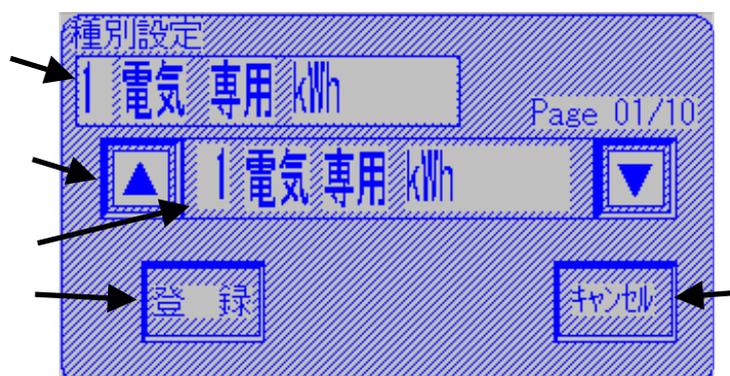


図 9 . 1 6 種別設定

「種別表示」です。現在設定されている種別が表示されます。
 「種別移動」ボタンです。矢印キーを使って、種別を切替ます。
 「種別選択表示」です。1～10の種別を表示します。
 「登録」ボタンです。現在設定している種別を登録します。
 「キャンセル」ボタンです。現在設定されている項目がキャンセルされます。

・手順

の「種別移動」ボタンを使用して、登録したい種別を選択します。

の「種別選択表示」に登録したい種別が表示されたら、 の枠を押すことで、
 の「種別表示」に項目が表示されます。

の「登録」ボタンを押すと、 に表示されている項目設定が反映されます。

[乗率設定方法]

の「乗率」の文字を押すと図 9 . 1 7 が表示されます。

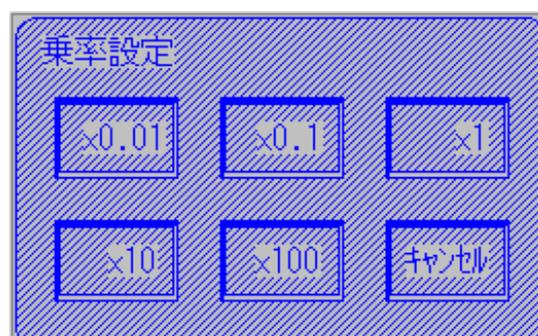


図 9 . 1 7 乗率設定

設定したい乗率のボタンを押すと、設定に反映されます。
 キャンセルボタンを押すと設定は変更されません。

[「パルス種別」・「線式」・「パルス重み」設定方法]

の「パルス種別」・「線式」・「パルス重み」のいずれかの文字を押すと図9.18が表示されます。



図9.18 「パルス種別」・「線式」・「パルス重み」設定

・手順

「パルス種別」から「パルス」または「時間」ボタンを押します。押した項目が下に表示されます。

「線式」から「2線」、「3線」または「2線高速」ボタンを押します。押した項目が下に表示されます。

「パルス重み」から「x1」または「x0.5」ボタンを押します。押した項目が下に表示されます。

「登録」ボタンを押すと、表示されている項目内容で設定が反映されます。

「キャンセル」ボタンを押すと、変更項目はキャンセルされます。

[製造番号設定方法]

の「製造番号」の文字を押すと [メータ名称設定方法] と同じような画面が表示されますので、同じ操作で設定します。

[検満日設定方法]

の「検満日」の文字を押すと [メータ名称設定方法] と同じような画面が表示されますので、同じ操作で設定します。

[印字方法]

図9.19 の印字ボタンを押すと図9.19の印字選択画面が表示されます

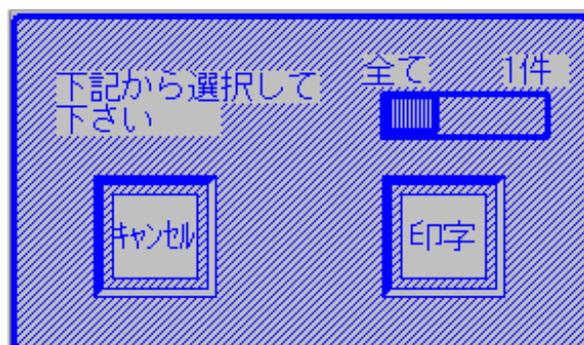


図9.19 印字選択

- 「印字」ボタンを押すとメータ登録情報がプリンタより印字されます。
- 印字中にキャンセルボタンを押した場合、印字がキャンセルされます。
(即時キャンセルではありません。プリンタバッファ分は印字されます。)
- 印字中はキャンセルボタン以外触らないようにして下さい。

9.4 入居者登録

入居者ごとにメーターを割り振り、検針を行うことができます。

図9.1の入居者登録ボタンを押すことで図9.20の画面が表示されます。



図9.20 入居者登録設定

「入居者移動ボタン」です。入居者を移動する際に使用します。

- ・上矢印2個ボタンは、「入居者を+10します」
- ・上矢印1個ボタンは、「入居者を+1します」
- ・下矢印1個ボタンは、「入居者を-1します」
- ・上矢印1個ボタンは、「入居者を-10します」

「ページ移動ボタン」です。ページを移動する際に使用します。1ページで5メータ表示されます。

(1入居者につき15メータまで設定可能です。)

「検針ボタン」・「印字ボタン」です。入居者名ごとに検針と印字の選択を行います。

「入居者名」です。現在設定されている入居者名の表示。入居者名の変更ができます。左から(入居者に対するメータの番号[1 15]、メータ番号[1 100]、メータ名称、メータ単位)

「設定メータ表示」です。現在設定されているメータが表示されます。

「印字」です。現在入居者登録で設定されている内容を印字させます。

「設定ボタン」です。メータを入居者に対して設定させる際に使用します。

[検針設定方法]

の「検針」の文字を押すと図9.21が表示されます。

「する」・「しない」のボタンを押して選択してください。

「する」ボタン・・・検針する

「しない」ボタン・・・検針しない



図9.21 検針登録選択

[印字設定方法]

の「印字」の文字を押すと[検針設定方法]と同じような画面が表示されます。
「する」・「しない」のボタンをおして選択してください。

「する」ボタン・・・印字する

「しない」ボタン・・・印字しない

注：「しない」にすると入居者別検針、入居者事前検針で印字されなくなります。

[入居者名設定方法]

の「メータ名称」の文字を押すと図9.22が表示されます。

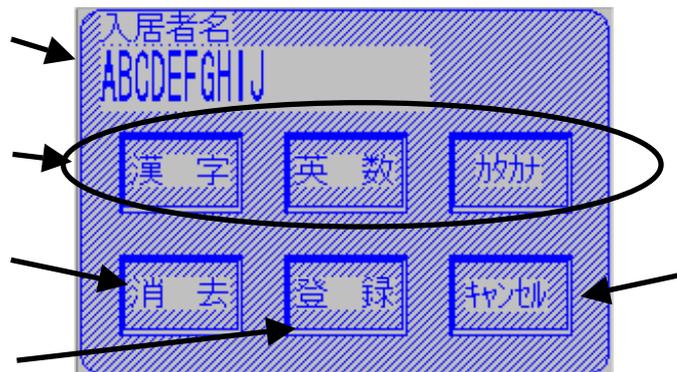


図9.22 メータ名称設定

編集中名称。

漢字、英数、カタカナの選択ボタン。押したボタンにしたがって各文字入力画面が表示されます。(入力方法は第5章参照)

消去ボタン。編集中の文字がクリアされます。

登録ボタン。編集中の文字を名称として登録します。

キャンセルボタン。編集をキャンセルしてメンテナンスメニュー画面にもどります。

[メータ設定方法]

の「設定」ボタンを押すと図9.23の画面が表示されます。

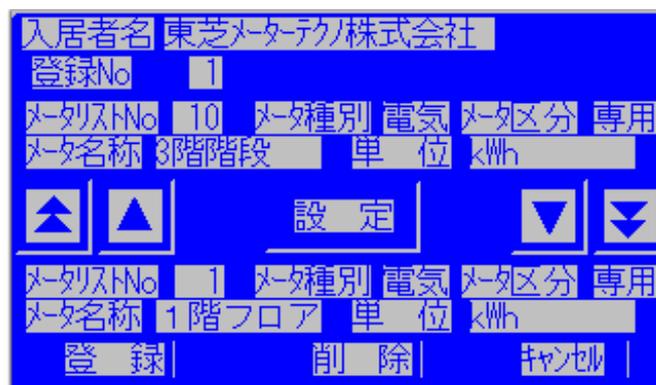


図9.23 メータ設定

・手順

「移動ボタン」を使用して、設定したい項目を選びます。
(ボタンを押すことで図の下部分が変わります。)

設定したい項目が表示されたら、図中央の「設定ボタン」を押します。
すると、図下の項目が図上に反映されます。

図上に反映されたら、「登録ボタン」を押せば項目の登録完了です。

図上の項目を削除したい場合は「削除ボタン」を押すと削除できます。
「キャンセルボタン」を押すと、編集内容はキャンセルされます。

[印字方法]

図9.20の印字ボタンを押すと図9.24の印字選択画面が表示されます

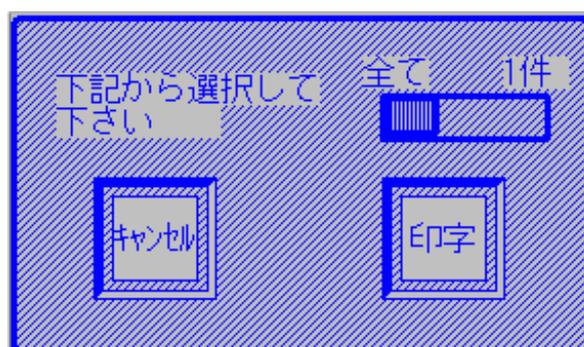


図9.24 印字選択

「印字」ボタンを押すと入居者登録情報がプリンタより印字されます。
印字中にキャンセルボタンを押した場合、印字がキャンセルされます。
(即時キャンセルではありません。プリンタバッファ分は印字されます。)
印字中はキャンセルボタン以外触らないようにして下さい。

9.5 端末機器設定

図9.1の端末機器設定ボタンを押すことで図9.25の画面が表示されます。

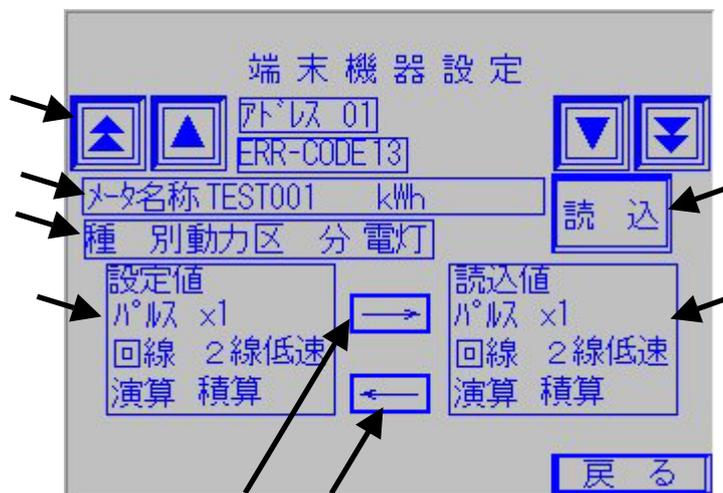


図9.25 端末機器設定

「アドレス移動ボタン」です。アドレスを移動する際に使用します。

- ・上矢印2個ボタンは、「入居者を+10します」
- ・上矢印1個ボタンは、「入居者を+1します」
- ・下矢印1個ボタンは、「入居者を-1します」
- ・上矢印1個ボタンは、「入居者を-10します」

「アドレス名称表示」です。アドレス名称・単位を表示します。

「種別・区分表示」です。選択されているメータの種別名と区分名を表示します。

「設定値表示」です。現在タッチパネルにて設定されている内容を表示します。

「TTE書き込みボタン」です。設定値の内容をTTEに書き込みます。

「TTE読込ボタン」です。TTEに設定されている内容をタッチパネル側に反映させます。

「読込ボタン」です。TTEに設定されている内容を讀込み、 の讀込値に表示させます。

「讀込値表示」です。TTEから讀込んだ設定を表示します。

- ・手順1 (TTEの値を讀込み、タッチパネルに反映させる場合)

「アドレス移動ボタン」でアドレスを指定します。

「TTE読込ボタン」のボタンをおせば、TTEの設定が に表示されます。

「TTE読込ボタン」のボタンをおせば、TTEの設定が に表示されます。

- ・手順 2 (タッチパネルの値を T T E に反映させる場合)
「アドレス移動ボタン」でアドレスを指定します。

「T T E 書込みボタン」を押して設定値を T T E に反映させます。

9.6 指針値設定

図9.1の指針値設定ボタンを押すことで図9.26の画面が表示されます。



図9.26 指針値設定

「アドレス移動ボタン」です。アドレスを移動する際に使用します。

- ・上矢印2個ボタンは、「入居者を+10します」
- ・上矢印1個ボタンは、「入居者を+1します」
- ・下矢印1個ボタンは、「入居者を-1します」
- ・上矢印1個ボタンは、「入居者を-10します」

「アドレス名称表示」です。アドレス名称・単位を表示します。

「種別・区分表示」です。種別名称と区分名を表示します。

「現在指針値」です。現在のTTEの指針値を表示します。

「設定指針値」です。TTE側に設定したい指針値を記入します。

「印字ボタン」です。現在表示されているアドレスの内容を表示します。

「書込ボタン」です。設定指針値をTTEに書込みます。

・手順

「アドレス移動ボタン」でアドレスを指定します。

「設定指針値」の設定指針値の文字を押すと、電卓が表示され数値を記入することができます。

「書込ボタン」のボタンをおせば、「設定指針値」の設定がTTEに書込まれます。

注意：書込まれたどうかを確認するには、メンテナンス終了1分後、今回値または現在指針値を確認する必要があります。

9.7 時刻設定

時刻・月日を修正したい場合にカレンダー設定を行います。

図9.1の時刻設定ボタンを押すことで図9.27の画面が表示されます。

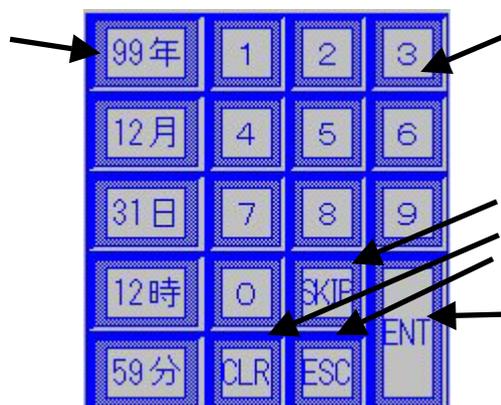


図9.27 カレンダー設定

テンキー(0～9)。数字を押すと、押された数字が 点滅状態に表示されます。

SKIPキー。編集項目を移動します。

CLRキー。編集項目を初期化します。

ESCキー。編集を中断して、カレンダー設定を終了します。

ENTキー。編集を終了して、表示されている値をカレンダーに反映します。

年月日時刻キー。月日・時刻を表しています。編集したい項目を押すと、押された項目が点滅します。点滅状態が編集可能な項目となります。

操作方法(例)

選択したい項目を選択(選択した項目が点滅します)

数値を入力

設定終了

9.8 表示器設定

図9.1の表示器設定ボタンを押すことで図9.28の画面が表示されます。

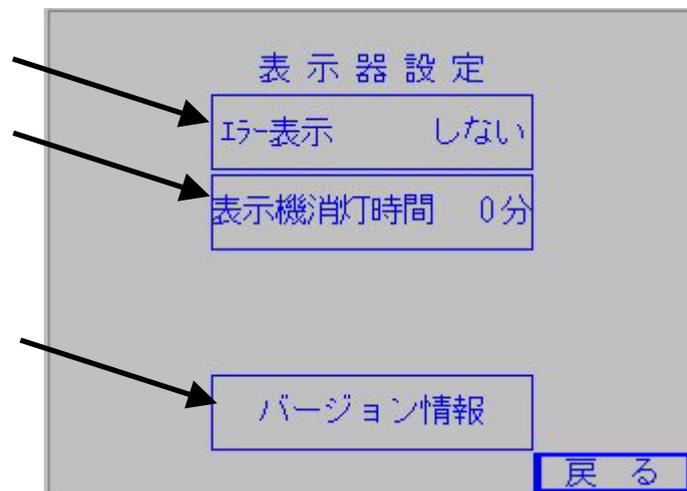


図9.28 表示機設定

「エラー表示」。通信エラーが発生した場合、エラーメッセージを出すか出さないかを表示、設定します。

「表示機消灯時間表示」。タッチパネルの画面を消す時間を表示、設定します。

「バージョン情報表示」。

[エラー表示]

の「エラー表示」のエラー表示と書いてある文字を押すと下図の画面が表示されます。「する」、「しない」のボタンを押すことで設定できます。



図9.29 エラーWindow表示設定

[表示器消灯時間表示]

「表示機消灯時間表示」の表示機消灯時間と書いてある文字を押すと電卓が表示されます。電卓で数値を入力して下さい。

(0分で指定した場合、表示器は常時ONとなります。)

[バージョン情報]

「バージョン情報表示」のバージョン情報と書いてある文字を押すと機器のバージョンが表示されます。

添付資料

以下の添付資料があります。

通信エラーリスト
印字リスト
トラブルシューティング

通信エラーリスト

通信エラーは以下の通りです。

NO	エラーコード	内容	検針有無
1	-1	未設定	無効
2	0	TTE 正常	
3	1	TTE 無応答	無効
4	2	チェックサムエラー	無効
5	3	R/Wエラー	無効
6	4	データエラー	無効
7	5	計量値異常	無効
8	6	パラメータエラー	無効
9	7	パルス入力異常	
10	8	受信タイムオーバー	
11	9	フレーミングエラー	
12	10	オーバーランエラー	
13	11	テキストエラー	
14	12	12V電圧異常	
15	13	メータ初期値未設定	無効
16	14	カウンタ初期化失敗	無効
17	15		
18	16		
19	17		
20	18		

印字リスト

・全メータ検針(使用量)

上から

- 1．印字表題
- 2．検針種類
- 3．メータアドレスナンバー(1～100)
- 4．「今回値」・「検針値」・「前回値」表示
- 5．検針期間
- 6．メータ名称
- 7．種別名
- 8．単位
- 9．エラーコード(エラーが発生している場合のみ表示します)
- 10．今回指針値
- 11．前回指針値
- 12．今回使用量
- 12．前回使用量
- 13．交換使用量(メータ交換検針をした場合のみ)
- 14．増減率

印字例

```

全メータ検針
メータアドレスNo 1
今回値
期間06-01-11 13時～06-01-12 13時
TEST1
種別名          シュハ°
今回指針値          50
前回指針値          50
今回使用量          0
前回使用量          50
増減率              0%
  
```

・全メータ検針(料金)

上から

- 1 . 印字表題
- 2 . 検針種類
- 3 . メータアドレスナンバー(1 ~ 100)
- 4 . 「今回値」・「検針値」・「前回値」表示
- 5 . 検針期間
- 6 . メータ名称
- 7 . 種別名
- 8 . 今回指針値
- 9 . 前回指針値
- 10 . 使用量
- 11 . 本体金額
- 12 . 消費税額
- 13 . 合計金額

印字例

全メータ検針
 メータアドレス 1
 今回値
 期間06-01-11 13時~06-01-12 13時
 TEST1
 種別名 シュハ
 今回指針値 50
 前回指針値 50
 使用量 0
 本体金額 0円
 消費税額 0円
 合計金額 0円

・入居者別検針(使用量)

上から

- 1 . 印字表題
- 2 . 入居者名
- 3 . 「今回値」・「検針値」・「前回値」表示
- 4 . メータアドレスナンバー(1 ~ 100)
- 5 . 検針期間
- 6 . メータ名称
- 7 . 種別名
- 8 . エラーコード(エラーが発生している場合のみ表示します)
- 9 . 今回指針値
- 10 . 前回指針値
- 11 . 今回使用量
- 12 . 前回使用量
- 13 . 交換使用量(メータ交換検針をした場合のみ)
- 14 . 増減率

印字例

入居者名:アアア
 今回値
 メータアドレスNo 1
 期間06-01-11 13時~06-01-12 13時
 TEST1
 種別名 シュハ
 今回指針値 50
 前回指針値 50
 今回使用量 0
 前回使用量 50
 増減率 0%

・入居者別針(使用量)

上から

- 1 . 印字表題
- 4 . 入居者名
- 5 . メータアドレスナンバー(1 ~ 100)
- 6 . 「今回値」・「検針値」・「前回値」表示
- 7 . 検針期間
- 8 . メータ名称
- 9 . 種別名
- 18 . 使用量
- 19 . 本体金額
- 20 . 消費税額
- 21 . 合計金額

メータの最後が印字された後に印字された金額の総合計金額が表示されます。

印字例

入居者名:アアア
 メータアドレスNo 1
 今回値
 期間06-01-11 13時~06-01-12 13時
 TEST1
 種別名 シュハ
 今回指針値 50
 前回指針値 50
 今回使用量 0
 本体金額 0円
 消費税額 0円
 合計金額 0円

・メータ種別検針(使用量)

上から

- 1 . 印字表題
- 2 . 検針種類
- 3 . 種別名
- 4 . 「今回値」・「検針値」・「前回値」表示
- 5 . メータアドレスナンバー(1 ~ 100)
- 6 . 検針期間
- 7 . メータ名称
- 8 . エラーコード(エラーが発生している場合のみ表示します)
- 9 . 今回指針値
- 10 . 前回指針値
- 11 . 今回使用量
- 12 . 前回使用量
- 13 . 交換使用量(メータ交換検針をした場合のみ)
- 14 . 増減率

印字例

メータ種別検針
種別名: シュベ
今回値
メータアドレスNo 1
期間06-01-11 13時~06-01-12 13時
TEST1
今回指針値 50
前回指針値 50
今回使用量 0
前回使用量 50
増減率 0%

・メータ種別検針(料金)

上から

1. 印字表題
2. 検針種類
3. 種別名
4. メータアドレスナンバー(1~100)
5. 「今回値」・「検針値」・「前回値」表示
6. 検針期間
7. メータ名称
8. 今回指針値
9. 前回指針値
10. 今回使用量
11. 本体金額
12. 消費税額
13. 合計金額

メータの最後が印字された後に印字された金額の総合計金額が表示されます。

印字例

メータ種別検針

種別名: シュハ

メータアドレスNo 1

今回値

期間06-01-11 13時~06-01-12 13時

TEST1

今回指針値 50

前回指針値 50

今回使用量 0

本体金額 0円

消費税額 0円

合計金額 0円

・個別メータ検針

使用量・料金印字ともに「全メータ検針」と同じ印字スタイルです。

・メータ交換検針

上から

- 1．印字表題
- 2．印字日時
- 3．検針種類
- 4．アドレスナンバー(1～100)
- 5．検針期間
- 6．メータ名称
- 7．種別名
- 8．単位
- 9．乗率
- 10．区分
- 11．エラーコード(エラーが発生している場合のみ表示します)
- 12．交換状況「メータ交換無し」、「メータ交換中」、「メータ交換済」
- 13．今回値
- 14．前回値
- 15．交換前値
- 16．交換後値
- 17．前回締値
- 18．使用量
- 19．交換使用量

印字例

```

2006年1月12日 13時24分
メータ交換検針
メータアドレスNo 1
期間06-01-11 13時～06-01-12 13時
TEST1
種別名          シュハ
区 分          専 用
メータ交換無し
今回値          50
前回値          50
交換前値        -----
交換後値        -----
前回締値        -----
使用量          0
交換使用量      -----

```

・実績全メータ

上から

- 1．印字表題
- 2．印字日時
- 3．実績種類
- 4．アドレスナンバー(1～100)
- 5．検針期間(1日)
- 6．メータ名称(2行)
- 7．単位
- 8．使用量

印字例

試験用印刷表題
2005年9月21日 21時9分
実績全メータ
メータアドレス 1
期間 05-09-21
メータ名称
1-----
単 位 kWh
使用量 10001

実績全メータ
メータアドレス 2
期間 05-09-21
メータ名称
2-----
単 位 m3
使用量 10002

・入居者別実績

上から

- 1．印字表題
- 2．印字日時
- 3．実績種類
- 4．入居者名
- 4．アドレスナンバー(1～100)
- 5．検針期間(1日)
- 6．メ-タ名称(2行)
- 7．種別
- 8．単位
- 9．使用量

印字例

試験用印刷表題

2005年9月21日 21時5分

入居者別実績

1*****

メ-タアドレス 1

期間 05-09-21

メ-タ名称

1-----

種別名	電気
単位	kWh
使用量	10001

入居者別実績

メ-タアドレス 2

1*****

期間 05-09-21

メ-タ名称

2-----

種別名	ガス
単位	m3
使用量	10002

・メータ種別実績

上から

- 1．印字表題
- 2．印字日時
- 3．実績種類
- 4．アドレスナンバー(1～100)
- 5．検針期間(1日)
- 6．メータ名称(2行)
- 7．種別
- 8．単位
- 9．使用量

印字例

試験用印刷表題
 2005年9月21日 20時45分
 種別実績

メータアドレス 1
 期間 05-09-21
 メータ名称
 1-----

種別名	電気
単位	kWh
使用量	5001

試験用印刷表題
 2005年9月21日 20時45分
 種別実績

メータアドレス 2
 期間 05-09-21
 メータ名称
 2-----

種別名	ガス
単位	m3
使用量	5002

- ・システム登録
- 上から
- 1．印字日時
- 2．印字種類
- 3．印字表題(2行)
- 4．システム選択
- 5．検針選択
- 6．自動更新
- 7．消費税率

印字例

2005年9月22日 11時1分
システム登録印字
印字表題
試験用印刷表題
システム選択 スタンドアロン
検針選択 自動
自動更新 す る
消費税率 10%

- ・メータ種別登録
- 上から
- 1．印字日時
- 2．印字表題
- 3．印字種類
- 4．アドレスNo
- 5．種別名
- 6．種別
- 7．単位
- 8．区分
- 9．検針日
- 10．検針時刻
- 11．基本料金
- 12．単価料金1
- 13．単価料金2
- 14．区分点1
- 15．区分点2

印字例

2005年9月22日 11時2分

試験用印刷表題
メータ種別登録印字
No.1

種別名	電気
単 位	kWh
区 分	専 用
検針日	1日
検針時刻	0時
基本料金	0.10円
単価料金1	20.00円
単価料金2	30.00円
区分点1	100
区分点2	200

- ・メータ登録
- 上から
- 1．印字日時
- 2．印字表題
- 3．印字種類
- 4．アドレスNo
- 5．メータ名称
- 6．検針許可
- 7．印字許可
- 8．単位
- 9．種別
- 10．区分
- 11．製造番号
- 12．検満日
- 13．倍率
- 14．パルス
- 15．回線種類
- 16．積算種別

印字例

2005年9月22日 11時3分

試験用印刷表題

メータ登録印字

No.1

名 称	1-----
検針許可	検針する
印字許可	印字する
単 位	kWh
種 別	電気
区 分	専用
製造番号	12345678901234567890
検 満 日	2000/07/20
倍 率	x0.10
パ ル ス	x1
回 線	2線低速
積算種別	パルス

・入居者登録

上から

1. 印字日時
2. 印字表題
3. 印字種類
4. 入居者No
5. 入居者名
6. 検針許可
7. 印字許可
8. 登録メータ(1~15)
 - 1行目左から：登録番号、メータアドレス、メータ名称、単位
 - 2行目左から：区分、種類

印字例

2005年10月11日 20時44分

試験用印刷表題
 入居者登録印字
 No.1
 入居者名 1*****
 検針許可 検針する
 印字許可 印字する

1.ADD=	1	1-----	kWh
			専用 電気
2.ADD=	2	2-----	m3
			共用 ガス
3.ADD=	3	3-----	m3
			参考 水道
4.ADD=	4	4-----	タン14
5.ADD=	5	5-----	タン15
6.ADD=	6	6-----	タン16
7.ADD=	7	7-----	タン17
8.ADD=	8	8-----	タン18
9.ADD=	9	9-----	タン19
10.ADD=	10	10-----	タン110
15.ADD=	100	100-----	タン110

・ 指針値登録

上から

- 1 . 印字日時
- 2 . 印字表題
- 3 . 印字種類
- 4 . 指針値表示(左から、アドレスNo , メータ名称、指針値、エラーコード)

印字例

入屋庄年9月22日 11時10分

試験用印刷表題

メータ指針値印字

No	メータ名称	指針値	コード
No.1	1-----	002136	0
No.2	2-----	000050	0
No.3	3-----	000100	0
No.4	4-----	000100	0
No.5	5-----	000100	0
No.6	6-----	000100	0
No.7	7-----	000100	0
No.8	8-----	000100	0
No.9	9-----	000100	0
No.10	10-----	000100	0

トラブルシューティング

No	現象	対策
1	タッチパネルが表示しない	タッチパネルのパネルを触ってください。 電源がはいっているかどうか確認して下さい。
		以上の操作をしても動かない場合は、バックパネルの故障、もしくは本体の故障が考えられます。弊社までご連絡下さい。
2	プリンタが動作しない	プリンタの紙が装着されているかどうか確認して下さい。
		タッチパネルのシステム設定が「スタンション」になっていることを確認して下さい。
		プリンタのコネクタが装着されているかどうか確認して下さい。
		以上の操作をしても動かない場合は本体の故障が考えられます。弊社までご連絡下さい。
3	電源ランプがつかない	電源が投入されていない可能性があります。ご確認ください。
		以上の操作をしても動かない場合は本体の故障が考えられます。弊社までご連絡下さい。
4	バッテリーランプがつかない	バッテリー駆動によるバッテリーの電圧低下が考えられます。AC100Vを供給して下さい。
		以上の操作をしても動かない場合は本体の故障が考えられます。弊社までご連絡下さい。
5	タッチパネルの画面が操作できなくなる。	システムがフリーズしていると考えられます。一旦タッチパネルをリセットする必要があります。リセット方法はタッチパネル取扱説明書をご覧ください。

自動検針システム TOSCAM-SK1 取扱説明書

Ver.1.1.0.0

2005年 9月 第1版発行

2005年 12月 第2版発行

発行 東芝メータテクノ株式会社

〒146-0093 東京都大田区矢口1-5-1(KIPビルディング)

TOSHIBA METER TECHNO CO., LTD ALL Rights Reserved.

本仕様書の一部または全部を当社の許可なく、他に転用することを禁じさせていただきます。